

FD

Fine Dream
Fukuoka University 福岡大学学園通信

「絆」

自分は一人じゃないと気付いた時、
人は大きなチカラを得る。





FD

FDは、「このキャンパスで在学生の皆さん一人一人が、美しく素敵な夢(Fine Dream)を育んでくれるように」との願いを込めるとともに、あわせて FUKUOKA DAIGAKUの頭文字を構成し、愛称として名付けられています。

CONTENTS

「絆」自分一人じゃないと気付いた時、人は大きなチカラを得る。

創立75周年記念事業特集	2
あの時、この場所で。	10
協定大学長によるシンポジウム	12
オープンキャンパス	14
イベントスケジュール/二十四節気	
情熱 STAND UP! ●バレーボール部(女子) ●将棋部 ●水泳部 ●読曲部	16
特別講座 知っていますか? 「遺伝子(DNA)」	18
私のとおきの一冊/絆エッセイ	19
来てみて話して こころの整理 ヒューマンディベロップメントセンター	
先生の研究「リサイクルを主体とした次世代道路・土質の研究」	20
教育クローズアップ「早期体験学習による薬学専門能力の啓発」	22
Fの鼓動	24
就活日記~My チャレンジ	25
卒業生に息づく 福岡大学 DNA	26
創立75周年記念事業募金 寄付者ご芳名一覧	28
ななくま通信	33
平成20年度学校法人福岡大学収支決算	35
平成21年度科学研究費補助金の採択結果	38
地域の福大サポーター	40

FD 2009 Autumn 第27号(通巻197号)平成21年10月15日発行
 編集・発行:福岡大学広報委員会
 〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1
 TEL:092-871-6631(代) E-mail: fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp
 http://www.fukuoka-u.ac.jp

「FD」に対するご感想をお寄せください。

春夏秋冬[編集部より]

約58万㎡の七隈キャンパス内に、秋の到来を告げてくれる葉の木や柿の木があるのをご存知だろうか。多くの時間をキャンパス内で過ごしながら、知っているようで知らないこと、見ているようで見えないことが往々にしてある。今年2009年は、本学創立75周年の年。その記念事業を通じて、本学の歴史、先人たちの熱い思い、人との絆に触れ、あらためて本学への誇りを感じ、身が引き締まる思いである。

「実家にも送られてくるので、福岡大学のことを家族と一緒に知ることができ、また会話のきっかけにもなっています。特に両親は、発行をいつも楽しみにしています。本年4月から本誌についてアンケートを実施している。ありがたいことに、毎号約1,500人もの学生および教職員から回答を寄せていただいている。これは、それらの回答の一部抜粋である。家族との絆、友との絆、恩師との絆、先輩や後輩との絆など、さまざまな絆がある。本誌が少しでも、そのきっかけになるのであれば幸いです。

自然界は実りの秋。私たちも絆を大切に、深め、広め、実り多き人生としていきたいものである。創立75周年記念事業のキャッチフレーズは「絆、新たに。」である。澄みわたる秋空のもと、込められた思いを自分なりに考えてみてはどうだろうか。

建学の精神

思想堅実・穏健中正
質実剛健・積極進取

【教育研究の理念】

「人材教育」と「人間教育」の共存
 「学部教育」と「総合教育」の共存
 「地域性」と「国際性」の共存



第33回 総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント結果

第1回戦 5-2 同志社大学
 第2回戦 1-0 札幌大学
 準決勝 3-2 関西大学
 決勝 3-1 高知大学
 8月7日(金)、大阪長居スタジアムで
 決勝戦が行われ、福岡大学が初優勝。

福岡大学の 三つのポリシー

アドミッションポリシー

本学の「建学の精神」を理解した、次のような人
 たちを広く国内外から受け入れます。

1. 考え方がしっかりしており独断や偏見にとらわれない生き方を求める人
2. 温厚で包容力がありバランス感覚に優れた能力を身につけたい人
3. 誠実で責任感が強く何事にも屈しない人生をめざす人
4. 新しいこと、困難なことに自ら進んで取り組んで行こうとする人

カリキュラムポリシー

本学の「教育研究の理念」に基づき、すべての学生に提供する「共通教育科目」と、各学部学科に設置する「専門教育科目」の二つを大きな柱とし、それぞれの学部学科の教育目標にあわせてカリキュラムを編成します。また、正課外教育においても、充実した各種教育プログラムを展開し、全教職員で本学学生の人間成長を支援し、全人教育を実現します。

1. 全学に提供する共通教育科目をとおして、専門性にとらわれない幅広い視野と豊かな人間性を持つ人材を育成
2. 各学部学科が設置する専門教育科目をとおして、専門的な知識や技能を高め、社会の進歩や変革に 대응する深い学識を有する人材を育成
3. 様々な教育プログラムをとおして、国際性と地域性を兼ね備えた21世紀に通用する人材を育成

ディプロマポリシー

本学の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 修得した知識・技能・態度により、自らが発見した新たな課題を解決する力
2. 職業生活、社会生活に必要な知的活動を支えるコミュニケーション能力や論理的思考力
3. 自律しながらも他者と協調して行動でき、社会の一員として社会の発展に寄与できる力

絆

信じ合うこと、心と心をつなぎ合うこと。
 自分一人じゃないんだ、
 そのことに気付いた時、
 人は大きなチカラを得る。
 勇気を持って一歩を踏み出せる。
 そしてチカラは一つになり、
 夢を実現する。



FD表紙モデル 福岡大学サッカー部

第33回総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメントで初優勝!

関東・関西地区以外の優勝は大会史上初。『2009年の創立75周年を見据えて、2006年度から始めた戦略的強化策が結実しました。決勝の出場選手14人中、12人が九州出身で、さらに6人が県内出身。地元の指導者との連携や豊かな福大サッカー人脈が生み出した長期一貫育成の勝利です。次の目標は天皇杯サッカーで「リーグチーム」へ挑戦することと冬の大学選手権での連覇です」と乾監督。

写真左から、
 キャプテン:宮路 洋輔さん(スポーツ科学部スポーツ科学科4年次生)、
 乾 真寛監督(スポーツ科学部教授)、
 大会得点王(5点):永井 謙佑さん(スポーツ科学部スポーツ科学科3年次生)



揮毫「絆」

森 康彦さん
 (工学部社会デザイン工学科
 3年次生)

第13回全日本高校・大学書道展で大賞を受賞した森さん(書道部・幹事)が、福岡大学創立75周年のキーワードであり、今号のテーマである「絆」の一字を、渾身の力で揮毫してくれました。



1011教室でホテルについて学ぶ子どもたち。



暗闇の中で幻想的な光を放つホテル。



松村 百恵さん
(工学研究科建設工学専攻
博士課程前期1年次生)
「この学習を機に、都会
の子どもたちが自然や
環境の大切さに気付く
きっかけになればと思
います。来年も楽しみに
待っててね!」。



地域の方々にも好評の「福岡大学周辺の生きものたち」。

ホテル観察会

6月4日(木)～6日(土)、本学で「ホテル観察会」を開催。観察会には片江、七隈、鳥飼校区の子どもたちやご父母など300人を超える参加がありました。

まず1011教室でホテルの一生やホテルの建てる水環境について学習し、その後、ホテル水路(本学薬草園内)に移動して、水路の説明を聞きながらホテルの飛び交う姿を見学。幻想的な光を放つホテルを見て、子どもたちは満面の笑みを浮かべ感激していました。また、福岡大学オリジナルの自然観察ガイドブック「福岡大学周辺の生きものたち」(ホテルについて解説した下巻、ホテルをデザインした上巻)2種類を子どもたちにプレゼントしました。

福岡大学ふれあい環境学習開催

打ち水大作戦

7月4日(土)、本学で「打ち水大作戦」を開催。当日は本学学生および地域の方々など約60人の参加がありました。

まず60周年記念館1階で、日本古来の風習である打ち水の意味や方法について説明。次に都市型水害防止やヒートアイランド現象軽減のために造られた本学仮設人工芝サッカー場の保水効果について、研究データをもとにスライドを使って説明がありました。その後、仮設人工芝サッカー場に移動し、本学室内プールの水を使って参加者に打ち水をしてもらいました。午前11時に赤外線サーモグラフィーで測定した同サッカー場の地表温度は42度でしたが、直前に降った雨との相乗効果で、打ち水後は30度に。打ち水の気温低下効果と同サッカー場の保水効果について実感できました。



仮設人工芝サッカー場で、本学室内プールの水を使い「打ち水」を体験。



福岡大学理科室「作ってみよう! エレクトロニクス万華鏡」も開催。



「福大創立75周年」の仕掛け花火が、夜空に鮮やかに。

城南区主催「夏まつり城南」に参加

本学は創立75周年を記念し、地域との絆を深めるため、7月18日(土)に西の堤池周辺(城南市民センター横)で開催された城南区主催「夏まつり城南」に参加しました。

当日は来場者に、本学オリジナルのうちわ、自然観察ガイドブック「福岡大学周辺の生きものたち」などを配布。子どもも広場で、福岡大学理科教室「作ってみよう! エレクトロニクス万華鏡」を開催しました。約300人の子どもたちは本学理学部物理科学科の教員や学生たちの指導を受けながら熱心に取り組む、完成した万華鏡をのぞきこんで、華麗な光の変化に歓声を上げていました。また、打ち水大作戦も行い、会場内の多くの方々に参加してもらいました。ファイナルの花火ショーでは、400発の打ち上げ花火とともに、「福大創立75周年」の仕掛け花火が、西の堤池と夜空を飾りました。



1 福岡市役所講堂(15階)は満員に。
2 本学法学部の浅野直人教授が進行を務めたパネルディスカッション。
3 熱心にディスカッションに耳を傾ける吉田宏福岡市長と衛藤卓也学長。
4 地域環境活動の中心を担う福岡大学を紹介する本学工学部松藤康司教授。

6月5日(金)、本学創立75周年記念事業の一環として、福岡市制施行120周年・法学部創立50周年を記念した環境シンポジウム「持続可能な社会への環境政策」を開催しました。この日は国連が定めた「環境デー」、そして日本でも環境基本法に定められた「環境の日」でもありました。

シンポジウムは吉田宏福岡市長、本学衛藤卓也学長のあいさつで始まり、続いて環境省環境事務次官西尾哲彦氏の基調講演がありました。西尾次官は低炭素社会に向けた政策の現状や国際社会の構図を説明し、「環境と経済のバランスを取る時

代から、環境が経済をけん引する時代に入った。日本は省エネ立国として意欲的な目標を立て、この時代を強く後押ししていく必要がある」と強調されました。

「私たちの環境への取り組み」と題したパネルディスカッションでは、環境省中央環境審議会委員を長年務めている本学法学部の浅野直人教授がコーディネーターとなり、まず九州電力(株)環境部長の西村正幸氏、(株)石村萬盛堂取締役の石村一枝氏、福岡市環境局長の吉澤温氏、本学工学部の松藤康司教授から、それぞれ取り組みや環境保全活動が紹介されました。

福岡市制施行120周年記念・法学部創立50周年記念 環境シンポジウム

持続可能な社会への環境政策と環境と経済と社会の向上をめざして

松藤教授は「環境マインドを育む!」というテーマで、環境問題に積極的に取り組む福岡大学を紹介。エコキャンパス化の一環である、アスファルトを使わない舗装工事やヒートアイランド現象を防止するための透水性人工芝仮設サッカー場の設置、さらにキャンパスの30%程度を緑化する「七隈の杜構想」などについて説明を行いました。また卒業生が使用した家具を新入生に無料で譲り渡すリサイクルマーケットの実績や、大量に出る古紙をトイレットペーパーに再生する構想を述べ、「地域環境活動の中心を担う福岡大学」の姿勢を強調しました。

Progress of Fukuoka University and the Historical Background

一九六九年

◆ 文学部・体育学部を増設

◆ 人文学部・体育学部を増設

◆ アポロ11号、月面着陸に成功(一九六九年)

◆ 日本万国博覧会(大阪)開催(一九七〇年)

◆ 理学部を増設

◆ 日本万国博覧会(大阪)開催(一九七〇年)

◆ 医学部を増設

◆ 浅間山非事件(一九七二年)

◆ 福岡市、政令指定都市となり、新施行(一九七二年)

◆ 沖縄復帰(一九七二年)

◆ 福岡大学病院を増設

◆ 第一次石油危機(一九七三年)

一九六六年

◆ 大学院を設置

◆ 米岡、北ベトナム戦争開始(一九六五年)

◆ 日本の総人口「一億人突破」(一九六六年)

◆ 川崎建設、ノーベル文学賞受賞(一九六八年)

◆ 全国百十以上の大学で学問紛争(一九六八年)

◆ 東京オリンピック

◆ 東海道新幹線開通(一九六四年)

◆ ケネディ米大統領、暗殺される(一九六三年)

◆ 東海道新幹線開通(一九六四年)

◆ 東京オリンピック

◆ 開業(一九六四年)

一九六二年

◆ 工学部を増設

◆ 若江大橋開通(一九六二年)

◆ 北九州五市合併

◆ 北九州府発足(一九六三年)

◆ ケネディ米大統領、暗殺される(一九六三年)

◆ 東海道新幹線開通(一九六四年)

◆ 東京オリンピック

◆ 開業(一九六四年)

一九六〇年

◆ 薬学部を増設

◆ 三井三池争議始まる(一九六〇年)

◆ カラーテレビ放送開始(一九六〇年)

◆ ソ連宇宙船地球一周飛行成功(一九六一年)

一九四九年

◆ 福岡外事専門学校を統合して福岡商科大学を設立

◆ 福岡商科大学附屬高等学校に改称

◆ 私立学校法公布(一九四九年)

◆ 公職選挙法公布(一九五〇年)

一九五一年

◆ 福岡商科大学附屬高等専門学校を設立

◆ サンフランシスコ講和会議開催(一九五一年)

◆ 西鉄バスが本学専用便を増設

一九五三年

◆ 福岡商科大学附屬第二部を増設

◆ ソ連相対スターリン没(一九五三年)

◆ 学校給食法公布(一九五四年)

◆ 福岡県警本部発足(一九五四年)

◆ 商学部第二部、七隈から平和台へ移転

◆ 西鉄・南大間のバスダイヤ新設

一九五五年

◆ 福岡大学に改称

◆ 法経学部を増設

◆ NHK福岡放送局、テレビ放送開始(一九五五年)

◆ スエズ戦争始まる(一九五六年)

◆ 福岡大学自治修養会竣工

◆ 原子力研究所の原子炉が火災をともす(一九五七年)

◆ 法経学部を分離して法学部・経済学部を増設

◆ 創立二十五周年記念、図書館を増設

◆ 皇太子現大皇、正田美津子さま御成婚(一九五九年)

◆ キューバ革命(一九五九年)



法学部創立50周年記念講演会 裁判員制度

5月30日(土)、本学831教室で法学部創立50周年記念講演会「裁判員制度」を開催しました。畠田公明法学部長のあいさつに続き、本学法学部卒業生の松尾昭一氏(福岡高等裁判所第二刑事部総括判事)の講演が始まりました。

講演は裁判員制度導入までの経緯、導入後に裁判はどう変わるのかなど、判事としての経験をもとに説明があり、「見て聞いて、分かる」裁判への姿勢を強調。最後に、法学部生へ「もし裁判員に選ばれたら素直な気持ちで参加してほしい」というメッセージで締めくくられました。講演後は法学部の新生から花束贈呈があり、教室に詰めかけた200人余りの法学部生・法学部卒業生などから盛大な拍手が沸き起こりました。



1 畠田公明法学部長のあいさつ。
2 時にユーモアを交えながら講演される松尾昭一氏。
3 熱心にメモをとる参加者で会場は埋め尽くされた。
4 学生の皆さんからも盛んに質問が寄せられ、活発な意見交換の場。

商学部創立75周年記念 ラジオ番組制作による 地域情報の発信 「エフエム福岡とのコラボレーション」

7月1日(水)、A棟AB02教室でユニークな講義が開催されました。これは講義中の教室とエフエム福岡の生放送中のスタジオをつなぎ、実際の放送するもの。当日は教室での公開リハーサルからスタートしました。出演する有働まりなさん(商学部貿易学科3年次生)とアナウンサーのやりとりや拍手の送り方を入念に打ち合わせ、いよいよ本番。生放送はスムーズに終了しました。その後、中島一顯氏(取材ディレクター)、勝目恒尚氏(編集制作事業課長)、香月千鶴氏(アナウンサー)の3人によるフリートーク、さらに本学卒業生でエフエム福岡営業次長の横山修司氏による講演がありました。ラジオ生中継という現場を体験し、メディア営業についての話を聞いた約50人の学生の皆さんは、最後まで興味津々の様子でした。



1 ラジオ生中継の様子。拍手や歓声のタイミングも合わせて。
2 教室内をまわり、参加者の意見を聞く中島一顯氏。
3 本学卒業生の横山修司氏(エフエム福岡営業次長)による講演。

第3回「人をつくり、時代を拓く」 連続講演会

千玄室氏「一盃から平和の心」

6月27日(土)にホテルニューオータニ博多で開催した第3回連続講演会は、本学の末永理事長と千玄室氏との長い交友が縁で実現しました。千氏は茶道裏千家家元になられた後、国際親善大使・国際ロータリー会員として、現在まで世界60カ国を訪問。「茶の心」を基本とした交流活動が続けられます。講演では、その交流体験や、先の



1 講演する千玄室氏。「日本人が真の国際人となるには、日本の文化を学ぶことが大事。特に古典の教養を」と、千氏。
2 講演後、有信会より花束を贈呈。



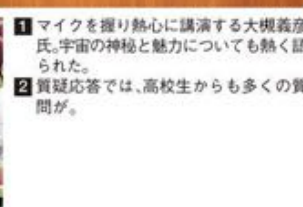
第4回「人をつくり、時代を拓く」 連続講演会

大槻義彦氏 「人にやさしい科学文明」

8月8日(土)、オープンキャンパスの日に831教室で開催した第4回連続講演会の講師は、大槻義彦氏。大槻先生は物理学者としての経験を交えながら、科学の歴史と進歩を振り返り、自由な視点から科学の意義を説明されました。「科学も一つの文化。感動があり、ロマンがある。しかも我々を幸福にする力がある」と語り、受験生の理系離れが深刻な現状を踏まえ、高校



1 マイクを握り熱心に講演する大槻義彦氏。宇宙の神秘と魅力についても熱く語られた。
2 質疑応答では、高校生からも多くの質問が。



Progress of Fukuoka University and the Historical Background

一九九八年

◆体育学部を改組してスポーツ科学部を増設
明石海峡大橋開通(一九九八年)

◆人文学部にて東アジア地域言語学を増設
◆法学部に経済学を増設
九州新幹線新八代、鹿児島中央開業(二〇〇四年)

◆新島県中津地蔵堂発祥
(二〇〇四年)

◆福岡県西片津地蔵堂発祥
(二〇〇五年)

◆日本国際博覧会(愛知)開催(二〇〇五年)

◆九州国立博物館開館(二〇〇五年)

◆薬学部にて薬学科(6年制)を増設
(二〇〇六年)

◆人文学部に教育・臨床心理学を増設
◆医学部に看護学を増設
郵政民営化スタート(二〇〇七年)

◆理学部応用物理学を物理科学科に改称
米岡大樹氏にバックス・パマ氏賞(二〇〇八年)

◆創立七十五周年
(二〇〇九年)

二〇〇三年

◆工学部化学工学科および土木工学科を
化学システム工学科および社会デザイン
工学科に改称
米英軍、イラク攻撃開始(二〇〇三年)

◆法科大学院を増設
九州新幹線新八代、
鹿児島中央開業
(二〇〇四年)

◆新島県中津地蔵堂発祥
(二〇〇四年)

◆福岡県西片津地蔵堂発祥
(二〇〇五年)

◆日本国際博覧会(愛知)開催(二〇〇五年)

◆九州国立博物館開館(二〇〇五年)

◆薬学部にて薬学科(6年制)を増設
(二〇〇六年)

◆人文学部に教育・臨床心理学を増設
◆医学部に看護学を増設
郵政民営化スタート(二〇〇七年)

◆理学部応用物理学を物理科学科に改称
米岡大樹氏にバックス・パマ氏賞(二〇〇八年)

◆創立七十五周年
(二〇〇九年)

一九八五年

◆福岡大学附属看護学校を開校
山陽新幹線開通(一九七五年)

◆福岡大学附属看護専門学校に改称
(一九七六年)

◆東京デイズビル開校
東京デイズビル開校(一九八三年)

◆創立五十周年記念
文系センター棟が竣工
一九八四年

◆福岡大学附属看護学校を開校
男女雇用機会均等法成立(一九八五年)

◆ソニー・エニックスビル開校(一九八六年)

◆セミナーハウスが竣工
一九八七年

◆片江研修館が竣工
一九八八年

◆元気が昭和から平成に(一九八九年)

◆雲仙普賢岳で火砕流発生(一九九一年)

◆救命救急センター棟が竣工
一九九二年

◆松本サリン事件(一九九四年)

◆阪神・淡路大震災(一九九五年)

◆地下鉄サリン事件(一九九五年)

◆福岡大学附属大濠中学校を設立
創立六十周年記念、六〇周年記念館
(ヘリオスプラザ)・講義棟A棟が竣工
広島の新地下鉄、世界遺産に決定(一九九六年)

◆理学部に地球科学科を増設
一九九八年

◆工学部電子工学科を改組して
電子情報工学科を増設
一九九九年

「絆」の文字を手に、元気な笑顔を見せる七隈祭実行委員会の皆さん。



「地域との絆も大きなテーマ」と話す七隈祭実行委員長：野間健介さん。

今年で54回目を迎える七隈祭。毎年、数万人もの来場者が訪れる九州最大の学園祭を、裏方として支えるのは約200人の七隈祭実行委員会。わずか3日間のために1年間を費やしてきた委員の皆さん。本番を間近に控えた今の心境を、七隈祭実行委員長の野間健介さん（経済学部経済学科4年次生）に聞きました。「今は、今年の七隈祭のテーマである『絆（またたき）』という気持ちです。限られた時間を最大限に有効活用し、一瞬一瞬を大事に過ごしたい。そして七隈祭に会場された方や参加した学生たちに、掛け替えのない一瞬、一瞬を提供したいと思っています。どうぞ皆さん七隈祭に来てください！」

なお、商学部第二部の学園祭「雅祭」は11月1日（日）・2日（月）に、医学部の学園祭「医学祭」は10月31日（土）・11月2日（月）に開催されます。

予告

「2009年七隈祭」10月31日（土）～11月2日（月）に開催



大盛況の七隈祭（昨年）。



地域の方々にもご参加いただいた七隈祭（昨年）。

創立75周年記念事業イベントカレンダー

10月

■1日～7日（4日は除く）

図書館特別展

■3日

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム

■3・17・24・31日

特別公開講座

サクセスフル・エイジング2009

「21世紀を豊かに生きる！」

■4日

福大ニコニコ健康づくり講座2009

～体力アップでメタボ解消～

■23日

協定大学長によるシンポジウム

■24日

創立75周年記念式典・祝賀会

■31日～11月2日

学園祭

11月

■28日

経済学部記念式典・講演会



福岡大学創立75周年を記念し、第1巻の「福岡大学75年の歩み 写真・年表編」を10月24日刊行。

絆—2009 福岡大学学術文化祭

6月22日（月）～27日（土）、恒例の学術文化祭が開催されました。学術文化祭は「七隈祭」と並び、文化サークルの発表の場。50回目を迎えた今年は例年以上の盛り上がりを見せ、各サークルの展示室から元氣



「絆」をテーマに思いを込めて学術文化祭実行委員会幹事長 鶴田 祥吾さん（商学部経済学科4年次生）

「各サークルが一丸となって、学術文化祭を成功させたい。そんな思いも込めたテーマ『絆』でした。このイベントが大学と学生、そして地域の方々との絆が深まる機会になったら、嬉しいですね。」

父母懇談会

6月20日（土）・21日（日）、本学七隈キャンパスで「父母懇談会」を開催しました。日ごろ本学と接する機会が少ないご父母に、本学の現状や学生の皆さんの修学状況をお伝えする目的で始まった懇談会。21回目を迎えた今年は、昨年を上回る延べ1,919人のご父母が出席され、本学とのコミュニケーションの機会として実りのあるものとなりました。

なお、父母懇談会は熊本、広島、松山、佐賀、那覇、東京、宮崎でも順次開催し、本学と合わせて延べ2,600人のご父母が出席されました。



資料を熱心に見入るご父母。



単位の取得状況について懇切丁寧に説明。

参加者アンケートより

- 就職や進路のことでアドバイスを受け、安心しました。
- 出席状況、単位の取得状況、就職についての心構えなどをお話いただき、今後子どもと話し合える材料を提供していただきました。



懇談会では学部ごとの個別相談も行われた。

学生チャレンジプロジェクト「福岡大学に壁画を描こう」 ラウンジ「オアシス」の壁面に完成

「福岡大学に壁画を描こう」プロジェクト（本学美術部）が丸となって取り組んでいた壁画が、9月20日（日）に完成しました。創部50周年を迎え、「絵」を通して本学に貢献したいと始めたプロジェクトは、場所の検討や下絵の準備などを経て、8月4日（火）に制作スタート。壁面を滑らかにし、下地材を塗った上で

一面を白色に。実際に描き始めたのはお盆休みの14日（金）でした。それから延べ約50人の協力で完成したのです。

高さ約2.45m、幅約13mの大きな壁にペンキと水彩絵具で描かれた大作は、創立75周年の記念になるとともに、美術部員たちの団結と情熱のメモリアルにもなりました。



- 1 キャンパスの賑わい、若々しい活気をモチーフにした壁画。
- 2 真剣な表情で一つ一つ丁寧に。
- 3 延べ約50人が下絵に彩色。



本学の歴史上、屈指の大規模工事。

1983

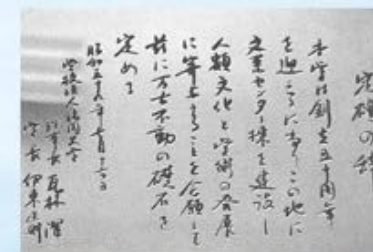


文系センター棟が建つ前、
室内プールを横に見ながら
ソフトボールをする学生の姿が。

1973

あの時、
この場所で。

聳え立つ、シンボル。
福岡大学創立半世紀を記念した
文系学部のマーンステーション。
25年後の今、学生の皆さんが活き活きと集う。
創立100周年、その時の社会や地域を担う若者たちが今、
このキャンパスで学んでいる。



1984年7月、定礎銘板が1階ロビー西側に
収納された。

2009

文系センター棟1階のプラザ50は
学生の皆さんの交流の場になっている。



シンポジウム参加大学名一覧 (協定締結順) ※2009年9月1日現在 (■はパネリストを予定)

ウオッシュバン大学 Washburn University of Topeka (U.S.A)	華東師範大学 East China Normal University (China)	ガジャマダ大学 Gadjah Mada University (Indonesia)	バース大学 The University of Bath (U.K.)
ニューカッスル・アポン・タイン大学 University of Newcastle upon Tyne (U.K.)	輔仁大学 Fu Jen Catholic University (Taiwan)	東義大校 Dong-eui University (Korea)	リュミエール・リヨン第2大学 University Lumiere Lyon2 (France)
蔚山大学校 University of Ulsan (Korea)	中国政法大学 China University of Political Science and Law (China)	烟台大学 Yantai University (China)	啓明大校 Keimyung University (Korea)
リーズ大学 The University of Leeds (U.K.)	トリブヴァン大学 Tribhuvan University (Nepal)	ドゥ・ラ・サール大学 De La Salle University (Philippines)	広州大学 Guangzhou University (China)
ルーヴァン・カトリック大学 Catholic University of Louvain (Belgium)	揚州大学 Yangzhou University (China)	高麗大校 Korea University (Korea)	パムツカレ大学 Pamukkale University (Turkey)

上村 優介さん
(人文学部英語学科4年次生)
このシンポジウムに参加して
自分を違う視点から
見つめてほしい

昨年の8月から今年の6月まで、交換留学生としてイギリスのリーズ大学に留学していました。毎日が異文化との出会いの日々。日本では当たり前のことが、そうではないことに驚いてばかりでした。リーズ大学には世界各国から留学生が集まっており、彼らとの交流でさまざまな考え方に触れたことも大きな収穫です。

シンポジウムには世界の大学から学長が参加されます。そこで述べられる意見や主張は、私たちに大きな刺激を与え、自分を広い視野・国際的な視点から見つめ直す機会になると思います。私もぜひ参加できれば意見を交換したいと思っています。皆さんもぜひ参加してください。



本学との交流協定大学一覧 (14カ国31大学1機関)

アジア

中国政法大学 China University of Political Science and Law (China)
揚州大学 Yangzhou University (China)
華東師範大学 East China Normal University (China)
烟台大学 Yantai University (China)
広州大学 Guangzhou University (China)
中央財経大学 Central University of Finance and Economics (China)
輔仁大学 Fu Jen Catholic University (Taiwan)
梨花女子大校 Ewha Womans University (Korea)
蔚山大学校 University of Ulsan (Korea)
釜山大校 Pusan National University (Korea)
東義大校 Dong-eui University (Korea)
高麗大校 Korea University (Korea)
啓明大校 Keimyung University (Korea)
トリブヴァン大学 Tribhuvan University (Nepal)
ドゥ・ラ・サール大学 De La Salle University (Philippines)
ガジャマダ大学 Gadjah Mada University (Indonesia)
※ 国家法官学院 National Judges College (China)

ヨーロッパ

ニューカッスル・アポン・タイン大学 University of Newcastle upon Tyne (U.K.)
リーズ大学 The University of Leeds (U.K.)
バース大学 The University of Bath (U.K.)
ルーヴァン・カトリック大学 Catholic University of Louvain (Belgium)
リュミエール・リヨン第2大学 University Lumiere Lyon 2 (France)
パリ第7ドゥニ・ディドロ大学 University Paris 7 Denis Diderot (France)
パドヴァ大学 The University of Padua (Italy)
フリードリヒ・シラー大学イェナ Friedrich Schiller University of Jena (Germany)
パムツカレ大学 Pamukkale University (Turkey)

北アメリカ

ワシントン大学 University of Washington (U.S.A)
ウオッシュバン大学 Washburn University of Topeka (U.S.A)
カンザス大学 The University of Kansas (U.S.A)
ジョージア工科大学 Georgia Institute of Technology (U.S.A)

南アメリカ

連邦立サンタ・カタリナ大学 Federal University of Santa Catarina (Brazil)
--

オーストラリア

グリフィス大学 Griffith University (Australia)
--



リーズ大学(イギリス)
1874年創立で学芸・経済・社会、法、理、工、医などの学部を有しています。学生数約30,500人、教職員数約8,000人。



蔚山大学校(韓国)
1970年に創立された私立総合大学。工、自然科学、社会科学、人文、造形、医などの学部を有しています。学生数約20,000人、教職員数約1,700人。



パドヴァ大学(イタリア)
1902年創立で、人文、理学、政治法律、外国語、体育、工学、水利建築工事、農学、畜産獣医、生物科学・技術、医学、商学、旅行・料理などの学部を有しています。学生数約40,100人、教職員数約4,100人。

お問い合わせ先

福岡大学国際センター事務局
〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈8-19-1
TEL:092-871-6631 (内線2161・2162) FAX:092-873-8420
E-mail:kokusai@adm.fukuoka-u.ac.jp

協定大学長によるシンポジウム運営事務局
(株)ICSコンベンションデザイン九州支局内
〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-1-35 新KBCビル9F
TEL:092-751-3244 FAX:092-751-3250
E-mail:fukudai75@ics-inc.co.jp

10月23日(金)、アークロス福岡4階国際会議場で「協定大学長によるシンポジウム」を開催します。シンポジウムでは「大学のグローバル連携と使命」をテーマに掲げ、協定大学長が参加するパネリストがセッションや意見交換・質疑応答などを行う予定です。シンポジウムは英語で行われますが、日本語による同時通訳があります。多様な価値観や文化に触れる貴重な機会です。学生の皆さん、ぜひ参加しましょう。

10月23日

国際人としての広い視野を養うきっかけにしよう！ 福岡大学創立75周年記念事業 「協定大学長によるシンポジウム」開催



ウオッシュバン大学(アメリカ)
1865年に創立された市立大学で法、経営、教育、看護、文理などの学部を有しています。学生数約6,000人、教職員数約500人。

在学生スタッフの声



樋口 翔さん
経済学部
産業経済学科3年次生

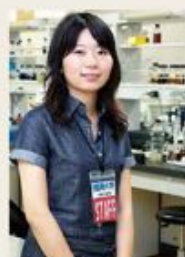


参加者の皆さんに、経済学の幅広さや、面白さをアピールしたくて頑張りました。皆さんの質問に答えながら、経済学部の良さを自分の中で確認するのはとても楽しい。オープンキャンパスって、私たち在校生にとっても貴重なイベントですね。



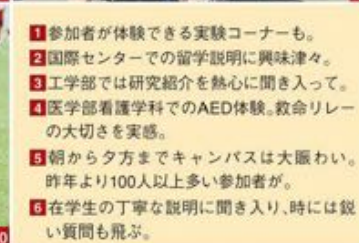
村里 悦子さん
理学部
応用物理学科4年次生

高校生の時にオープンキャンパスに来て、在学生の方にとっても親切にしていただったので、その時の恩返しのため、皆さんに接しました。理学は女性にも絶対に面白い学問。その面白さを皆さんに伝えました。春にはたくさん女の子が理学部に来てくれますように…!



税所 美幸さん
薬学研究科
薬学専攻1年次生

薬学部を見学に来る皆さんはとても熱心。目標がはっきりしているからか、質問も具体的で、将来の進路のこともよく尋ねられます。何より、夢と希望に満ちていて、目が輝いているのに感動しました。薬剤師の人気と重要性にあらためて気づき、私にとっても有意義な一日でした。



- 7 大講義室での説明会。メモを取る熱心な参加者も。
- 8 迷わないように誘導サインにも一工夫。スムーズに目当ての場所へ。
- 9 当日は、元バレーボールアメリカ代表選手、ヨコ・セッターランドさんの講演も。
- 10 サッカー場ではテストマッチを開催。
- 11 第一食堂でランチタイム。
- 12 記念バス周遊遊覧バスも大人気。

- 1 参加者が体験できる実験コーナーも。
- 2 国際センターでの留学説明に興味津々。
- 3 工学部では研究紹介を熱心に聞き入って。
- 4 医学部看護学科でのAED体験、救命リレーの大切な実感。
- 5 朝から夕方までキャンパスは大賑わい。昨年より100人以上多い参加者が。
- 6 在学生の丁寧な説明に聞き入り、時には鋭い質問も飛び。

二十四節氣

1/20頃 大寒(だいかん) 一年で最も寒い時期。しかし日脚は伸びており、少しずつ春の訪れを感じる。	1/5頃 小寒(しょうかん) 寒の入り。この日から節分までは寒の内。いつそう寒さが厳しさを増していく。	12/22頃 冬至(とうじ) 一年で最も夜が長い冬至。この日を境に日脚は伸びていく。柚子湯に入り、かぼちゃ・小豆粥を食べる習慣も。	12/7頃 大雪(たいせつ) 朝晩は池や川にうつすらと氷が張ることも。北国ではいよいよ本格的に雪が降り出す。	11/22頃 小雪(しょうせつ) 朝晩の冷え込みが厳しくなり、木々は葉を落とす頃。陽光も弱まり、地域により遠くの山頂には雪も。	11/7頃 立冬(りつとう) 日がいつそう短くなり、冬の気配がうかがえるようになる。暦の上ではこの日から立春の前日までが冬。	10/23頃 霜降(そうこう) 北国や山間部では、霜が降りて朝には草木が白く化粧。野の花の数は減り始め、山の紅葉はこの頃が盛り。
---	--	--	---	--	---	---

※二十四節気は大陰暦を使用していた時代に、季節を表すための工夫として考案されたもので、1年を24等分し、その区切りに名前を付けたものです。現在でも季節の節目節目に、これを示す言葉として使われています。
(日付は1日程度前後することがあります)。

2月

冬季休業終了(5日)
後期授業再開(6日)
後期授業終了(12日)
後期定期試験(13日) 26日)
学部留学生入試(2日)
一般入試(前期日程)
(本学)地方4日) 9日、11日、12日、24日)
医師国家試験(13日) 15日)
大学院春季入試(14日) 18日)
成績発表(4年次生以上) ほか(15日))
交換留学生派遣(中国・中国(台湾)・韓国)
海外研修生派遣(米国・豪州) (18日) 3月18日)
海外暑期中国語研修生派遣(中国) (21日) 3月7日)
追・再試験(26日) 3月3日)

1月

冬季休業終了(5日)
後期授業再開(6日)
後期授業終了(12日)
後期定期試験(13日～26日)

12月

第二部冬季球技大会(6日)
第二部クリスマスパーティー(20日)
冬季休業開始(26日)
事務休業(28日)～1月4日

11月

九州地区大学体育大会冬季大会(北九州
休日授業日)〔23日 勤労感謝の日〕
A方式推薦入試
〔スポーツ科学部〕〔24日・25日〕
〔その他の学部〕〔29日〕
B方式推薦入試〔28日〕
地域枠推薦入試〔29日〕

10月

留学生研修旅行(3日)
第二部秋季球技大会(4日)
学園祭 地域バレー25日、前夜祭ライブ29日
勤労感謝の日11月23日(の振替休日)30日
学園祭七隈祭、雅祭(第二部)、医学祭
(31日)11月2日(ステージ企画)展示・模擬店
交換留学生募集(英国・米国・フランス・ブラジル
(31日)11月12日)

EVENT SCHEDULE

イベントスケジュール

10,706人の夢がまぶしい
オープンキャンパス開催!!

8月8日(土)、真夏の日差しの中、今年も「オープンキャンパス」を開催しました。午前10時の開始前から、キャンパスにはたくさんの人、人、人。その瞳は、福岡大学への夢とあこがれでキラキラと輝いていました。教職員と在学生が一体となった催しは、模擬講義や公

開実験施設見学や相談コーナーなど多種多彩。教育内容や学生生活についての疑問や質問にお答えしました。福岡大学で学びたいという強い気持ちを十分に抱いていただけたと思います。10,706人の参加者の皆さん、このキャンパスでまた会いましょう。



水泳部

明るく リラックスして 毎日、猛練習。 それが伝統だから。



主将:木村 雄太さん
(スポーツ科学部スポーツ科学科4年次生)
「推薦入学の選手だけでなく一般の方も大歓迎。僕も一般入学でした。大切なのは毎日の努力と練習です」



福岡大学創立時から活動していた伝統のクラブ。その間、多くの名選手を輩出し、団体戦でも全国レベルで活躍しています。現在の部員は60人。週に6日の練習。そのうち4日は早朝練習(週1日に1万2千〜2万メートルも泳ぐそうです)。「1年次の時は特にきついでしょ。でもそれに慣れてくれば、一人前の水泳部員です」と主将の木村さん。この猛練習があつてこそ、輝かしい伝統を維持できるのです。しかし部の雰囲気は堅苦しいものではありません。明るく、時に声を掛け合いながら、さらに上位を目指しています。

謡曲部

新しいものに 出会いたいなら ぜひ謡曲部へ。 着付けも覚えられます。



幹事:木田 くるみさん
(法学部法律学科3年次生)(中)
副幹事:久池 美沙さん
(法学部法律学科2年次生)(左)
会計:川村 映輔さん
(法学部法律学科3年次生)(右)
「謡曲はもちろん、和服の着付けも覚えることができます!」



謡曲とは能の詞章・脚本。それに節をつけて謡うことを指します。日本古来のコロシアといえるかもしれません。謡曲にはシテツレ・ワキというパートがあり、最低3人で謡います。現在部員は3人。ぎりぎりの人数ですが、半世紀を超える歴史と、先輩たちが残してくれた貴重な財産(謡本・衣装・面など)を守るために一生懸命です。謡曲は現代に通じる感覚があり、謡うことで喉が鍛えられ、音程も良くなる。と幹事の木田さん。経験したことのない、新しいものに合うなら謡曲部へ!と熱烈にアピールしてくれました。

情熱 STAND UP!

バレーボール部(女子)

気持ち80% 技術は20% チームワークで インカレ優勝宣言!

西日本や全国レベルの大会で常に上位に名を連ねる名門チーム。その強さの基本はチームワークです。「それがわが部の伝統です。傑出した選手はいなくても、全員が一つになって、粘り強くボールを拾い、勝っていく」と主将でエースアタッカーの野田さん。チームを率いて20年になる米沢監督は「気持ちハートの強さが8割、技術は2割」と教えているそうです。そして「心を鍛えるには練習しかない。毎日の積み重ねが大事」とも。部員26人が強く鍛えた心一つにして狙うのは、晩秋のインカレ優勝です。



主将:野田 真希さん
(スポーツ科学部スポーツ科学科4年次生)
「1プレーごとのタッチで心が繋がる。たとえコートに立たなくても、みんなに強い絆がある。そんなチームです」



将棋部

個人競技だけど 互いに応援することで 部員同士の絆が どんどん深まっていく。

柔軟な思考力、先を読む力、決断力。将棋は日本伝統の頭脳ゲーム。粘り強さや勝負際の根性、心理面での駆け引きが大切な競技でもあります。そんな将棋の奥深い魅力の「とりこ」になった部員は現在19人。放課後、学術会館の部室で腕を磨き合っています。創部以来51年の輝かしい伝統を有し、特に昨年、学生名人を輩出(商学部第二部商学科2年次生 中野太さん)したことに勢いを得て、7季ぶりに全国大会へ進出。将棋は個人戦ですが、互いに応援することで部員同士の絆が深まります。それが何よりの喜びだそうです。



幹事:井福 英孝さん
(工学部電子情報工学科3年次生)(右)
副幹事:金棒 由晃さん
(工学部電子情報工学科3年次生)(左)
「女性部員が一人しかいないのが悩みのため。入部お願いします!」



大学生として身に付けておきたい一般教養。
さあ、この講座で常識や制度を楽しく学ぼう！

Book Review 私のとおきの一冊『封印再度』 森博嗣著 講談社文庫



工学部機械工学科3年次生 森永 隆志さん

ジャンルはミステリーで、S&Mシリーズの第5作目にあたります。作者の森博嗣氏は元国立大学の工学部助教授という異色の経歴を持っています。理系出身のためでしょうか、

作品の展開が非常に論理的で、誰にでも納得のいくもの(なはず)です。前作の内容を知らなくても楽しめますので、ぜひ一度手に取ってみてください。

※S&Mシリーズ…主人公である犀川創平と西之園萌絵のファーストネームのイニシャル「S」と「M」に由来。この二人が数々の謎を解明していく。

美術部の幹事である森さん。今号8ページで紹介した2009年度学生チャレンジプロジェクト「福岡大学に壁画を描こう」の代表者でもある。

絆

エッセイ

学生の皆さんの成長を
日々サポートし、
自らの成長したい。

「通学」が「通勤」に変わると同時に学生課に配属され、早や6年目を迎えました。毎日、学生課には、数多くの学生が訪れます。私は成長の途上である学生の皆さんと接するとき、一人の社会人として見られているという感覚を常に意識しています。

学生の皆さんは、正課の授業はもちろんのこと、大学でのさまざまな活動を通して日々成長していきながら、皆さんが「福岡大学で過ごせてよかった」と思えるようにサポートをしていくのが学生課員である私の役目だと思っています。初々しく入学してきた皆さんが、めだたく卒業を迎えた日に「ありがとございました」と堂々と胸を張って笑顔で挨拶をしてくれる時、何とも言えない感動を覚えます。日々成長していく皆さんの姿を見て刺激を受けるとともに



相談窓口でのコミュニケーションを大切にする皆さん。

に、この福岡大学で同じ時間を共有していることを自覚し、私も自らの成長していきたいと日々考えています。

学生課は日々の学生支援のほかにも多くの課外教育プログラムを企画し実施しています。また、ヒューマンディベロップメントセンターでは、専門のカウンセラーが皆さんの相談に応じえています。気軽に学生課にお立ち寄りください。



学生課 堀 社太

Human Development Center Information

来てみて 話して ところの整理 ヒューマンディベロップメントセンター (HDセンター: 学生相談室)

ヒューマンディベロップメントセンターでは、カウンセラーが皆さんからの相談を受け付けています。生活の中でうまくいかなくて困っていて、どうにかしたいと思っている方は、一人で悩まずに一度来てみませんか？

- たとえば...
- なんとなくだるくてやる気がおきない、授業などに行くのがおっくう
 - よく眠れない
 - イライラすることが多い
 - 人間関係がうまくいかない、キャンパスの居心地が悪い
 - 友達との会話についていけない、何の話をしているのか分からない
 - 勉強がなかなかうまくいかない
- どんな相談でも結構です。相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。

[相談時間] 月・水・金/9時30分～16時 火・木/9時30分～18時40分

[場所] 学生部事務室棟3階(1階に学生課のある建物)

相談は無料・予約制です ○ご家族・教職員の方からのご相談もお受けしています。

[ご予約・お問い合わせ] 092-871-6631 (代) (内線2630) ※お電話は平日の16時30分までをお願いします。
ホームページ (<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm>) もご覧ください。

グループ・セミナーのお知らせ

後期授業期間、下記のグループ・セミナーを実施しています。どの学年の方でも参加できますので、関心をお持ちの方は、お気軽にお問い合わせください(参加費は無料です)。

- ランチタイムを一緒に(ランチグループ)
毎週月曜日 12:00～13:00
- 社会で役立つ対人関係スキルグループ(SSTグループ)
毎週木曜日 16:20～17:20

知っていますか？

「遺伝子(DNA)」

メディアや、日常の会話でもよく耳にする「遺伝子」。正確にはどんなものなの？どんなことに役立つの？

医学部医学科の岩崎教授(専門は病理学)に分かりやすく説明してもらいました。

今年は進化論で有名な
チャールズ・ダーウィン(1809～82)の
生誕200年！

早分かりチャート

遺伝子研究の歴史

ダーウィンが遺伝子研究の幕を開けた。

ダーウィン以前は
全能の神が天地を創造し、
すべての生物を創り出したと
考えられていた。

19世紀 遺伝子革命の時代

ダーウィン著『種の起源』(1859)
『神の代わりに、自然が種を作った』と主張
自然選択によって生物は環境に適合するように
進化し、多様な種が生じた。

メンデルの法則
(1865)
優性遺伝と劣性遺伝

ウィルヒョウ
『細胞病理学』(1858)
すべての細胞は
細胞から生まれる。

20世紀 分子遺伝学の進歩

ワトソンとクリック
『DNA二重らせん構造モデル』(1953)
発展した中心教義(セントラルドグマ)

病理学を例にとると—
分子レベルで疾病のメカニズムが解明可能に

- クローニング
扱いやすくするために
対象遺伝子を担うDNAを増やす。
- シーケンシング
遺伝子の配列を解読する。
- 過剰発現
遺伝子をタンパク質に翻訳し、その機能を
明らかにする。

遺伝子は染色体ないしゲノムの特定の位置にあり、遺伝情報を担うユニットでDNA(Deoxyribo Nucleic Acid:デオキシリボ核酸)からなっています。簡単に言えば、遺伝子は生物の体の設計図。これが無ければ生物は組み立てられない、つまり存在できません。動くこともできません。細胞内で遺伝子のスイッチが入ると、特定のタンパク質が作られて、遺伝情報が実際に体の特徴などとして表れます。

もう少し、詳しく説明しましょう。

ヒトの体は約60兆個の細胞からできています。細胞の一つ一つの中には「核」が入っています。その「核」の中にあるのが46本の染色体です。染色体をほどいていくと、ひも状でらせんの構造をしたDNAが現れます。DNAは4種類の「塩基(アデニン・グアニン・シトシン・チミン)」でできており、この「塩基」の並び順が遺伝情報です。これによって親から子へ渡されたDNAは「親」とは同じ生き物」になる「設計図」として働き、先天的なことを一つ一つ決めていくのです。顔がよく似ている、運動神経が親子ともに発達している、こういう現象は遺伝子の働きなのです。

遺伝子解析で広がる可能性
再生医療、新薬開発なども

この遺伝子を解析することで、さまざまなことが可能になります。私の専門である病理学の分野を例に挙げてみましょう。悪性腫瘍には多くの種類があり、そのうちの滑膜肉腫の病理診断はしばしば困難で、線維肉腫や悪性末梢神経鞘腫との鑑別も難しいものでした。経験豊富な専門医が、サンプルを見て診断していたのです。しかし、滑膜肉腫の染色体転座・融合遺伝子はある特徴をもっていることが分かりました。

先生から一言

遺伝子をさかのぼると、アフリカの一人の女性にたどりつくという説があります。つまり人類の先祖です。彼女はミトコンドリアと名付けられました。人類は皆兄弟というのは、遺伝子的にも間違いではないのです。

医学部医学科
岩崎 宏教授
(医学博士)



その他、多種類の肉腫においても特徴が発見されました。遺伝子解析によって、専門医でなくても、かなり正確な診断が下せるようになったのです。遺伝子の研究は、癌遺伝子解析による治療法の進歩、再生医療、新薬開発などの分野でも応用され、今後の成果が期待されています。



悪性腫瘍の診断には、写真のような「マルチカラー-FISH法」などによる遺伝子解析が広く利用されている

文部科学省・環境省科学研究費等の研究助成を受けている地域貢献プロジェクト
リサイクルを主体とした
次世代道路・土質の研究

キャンパスから地域へ、世界へ。
今、そして未来に役立つ研究を。

福岡大学工学部社会デザイン工学科教授 佐藤研一（写真前列中央）



オープンキャンパスの日、工学部棟周辺舗装道路で、研究室の学生たちと、民間企業の協力者と海外からの研究者も交えて。

全国でも珍しい 道路・土質研究室

福岡大学工学部道路・土質研究室は、1966年からこの分野の研究を続けており、道路と土質の分野を両立させている全国でも珍しい研究室です。具体的には、超軟弱地盤の改良（工法の開発）、地震による砂地盤の液化化特性の把握、都市ゴミ焼却灰の地盤材料への適用に関する研究、建設発生土・建設汚泥の新しい有効利用工法の開発、資源循環を考えた廃石膏ボードや石炭灰の地盤材料への適用、歩行者系舗装材料の開発と歩き心地の検討などをテーマに研究を続けています。佐藤先生は1994年に本学へ赴任して以来この研究室を基盤にさまざまな成果を挙げてきました。中でも今、大きな注目を集めているのが、民間企業と連携して取り組む「舗装関連プロジェクト」です。

環境舗装を本学キャンパス内 工学部棟周辺道路に敷設

地球温暖化が進む中、ヒートアイランド現象の大きな要因の一つはアスファルト系の道路にあるといわれています。そこで舗装各社の最先端の遮熱舗装2種、保水性舗装と常温型舗装、廃タイヤ

チップ（廃棄ゴム）を用いた歩行者系の弾性舗装2種、合計6種類の環境舗装を、本学キャンパス内の工学部棟周辺道路に敷設し、遮熱・保水・歩き心地の評価を行っています。この研究はまた、福岡大学の「守ろう地球、創ろうエコキャンパス」計画の実現第1弾でもあります。この環境舗装道路を学生たちが歩き、その特性を実感することで地域社会での環境活動の気付きになればと思っています」と、佐藤先生。

PFBC灰（石炭灰）と竹チップ、土を配合する佐藤先生。黄金率は「土85%、PFBC灰13%、竹チップ2%」か「土82%、PFBC灰13%、竹チップ5%」。力のいる作業もこなす先生は、本学水泳部の部長でもある。



廃棄物を再利用し、 環境配慮の舗装材を開発

研究室では、廃棄物を再利用し、環境に配慮した舗装材の開発も行っています。それが「加圧流動床灰（PFBC灰）に着目。この灰は固まりやすい性質があり、舗装材の固化材として活用することにしました。PFBC灰も処分に困る廃棄物の一つだったので。

2006年度から舗装材の強度を保てる配合の割合について調査を開始、理想の配合にたどり着きました。昨年9月には福津市「あすの里運動公園」の遊歩道で舗装材の施工試験を実施しました。その結果、従来の土舗装に比べ舗装の表面にひび割れが起きにくいことが分かりました。また、アスファル

ト道路と比較した場合、最大で8℃ほど路面温度が低くなることも確認でき、地球温暖化の緩和も期待されています。佐藤先生は「今後も耐久性や歩き心地などの調査を進めます。また、竹以外の廃材についても舗装材として活用できないか検討していきます」と抱負を述べました。

産官学連携や共同も多く 実用性の高い研究

佐藤先生と研究室の研究は、産官学との連携や共同研究が多いことが大きな特徴です。言い換えれば「実用性の高い研究」といえるでしょう。「キャンパスから地域へ、世界へ。そのことを常に学生たちにも教えています。リサイクル世紀の今、そして未来に役立つ研究をこれからも進めていきたいですね。佐藤先生の力強い言葉に、研究スタッフは深くうなずいていました。

最近では、国土交通省の防災ドクターにも任命された佐藤先生。活動のフィールドは、ますます拡がりを見せています。



研究室の学生たちとのゼミ旅行。30年前から海外へ、最近では土木に関する世界遺産を見学に行っている。写真はスペイン・トレドを見わたせる展望台にて。



佐藤先生が考案した、研究室のロゴマークとプレート。



国際会議で研究成果を発表する機会も多い。

Close-up! 佐藤先生の原点

佐藤先生のあこがれ 坂本龍馬と維新群像

佐藤先生は2002年に、英国・スコットランドのダンディー大学に客員教授として赴任しました。手持ちぶさたの夜、何げなく手に取ったのが「龍馬がゆく」（司馬遼太郎著）。

国を変えたい、支えていきたいという若い活力に共感して大ファンに。帰国後に高知を訪れ、ご自分の家紋が高知の大名・山内家と同じ「三つ柏」であることを知り、ますます龍馬や維新の活動家たちに興味を覚えるようになりました。「革新。変えていく、という気持ちは私の人生の基本スタンスですね」。





佐賀県鳥栖市にある「くすり博物館」では、広い薬草園も見学。

福岡大学では、学部・センター等の特色に応じた教育の改善・充実を図ることを趣旨として、平成15年度から本学独自の「特色ある教育」を実施しています。今回はその中から薬学部の取り組みを、参加した学生の皆さんの声やアンケート等を交えながら紹介します。

福岡大学の「特色ある教育」

教育 クローズアップ

Educational close-up

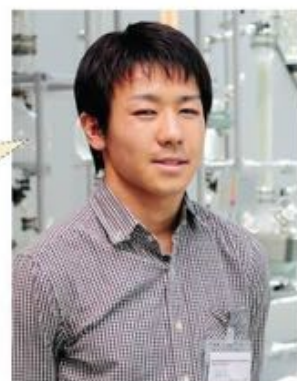
Student's voice

参加者の声

将来の進路を真剣に考え始めるきっかけに

すべてが貴重な体験でしたが、特に薬局見学で現場の方の話を直接聞けたことが大きな収穫でした。自分が何も知らなかったことを悟り、学習意欲が高まった気がします。将来の進路を真剣に考え始めるきっかけにもなりました。「くすり博物館」で薬学の歴史や、さまざまな薬草を知ったことも、これからの学びに役立つと思います。

坂本 英之さん
(薬学部薬学科1年次生)



学ぶ意味を明確にすることができました

ニチバンメディカルで見た、絆創膏の質の高さにびっくり。薬学の研究はこんなところにも生かされているんだと思いました。福岡大学病院の現場の緊張感、薬局での実用的な工夫なども勉強になりました。この体験学習を通じて、学部で学んでいることが実践に強く結び付いていることを知り、学ぶ意味を明確にすることができました。

吉岡 優希さん
(薬学部薬学科1年次生)



ニチバンメディカルでの工場見学。



「くすり博物館」でも熱心にメモを取って。



体験学習に先立って行われた事前講義。

早期体験学習による薬学専門能力の啓発

薬剤師としての自分をイメージし、モチベーションを高め、6年間の学びへ。コミュニケーション能力の向上効果も。

課題責任者・薬学部 金城順英教授



福岡市薬剤師会薬局での見学・体験学習。

薬学部に入學してきた学生は、全員が「薬剤師になりたい」という夢を持っています。しかし薬学を取り巻く環境や、薬剤師の多岐にわたる仕事、社会的責任の重さなどを、最初から十分認識している新入生は、そう多くはいま

そ。そこで1年次夏期に、薬学部出身者が活躍している現場等を体験学習することによって、学習に対するモチベーションを高め、薬学に対する明確な目的意識を持つてもらおうのが、この「早期体験学習」です。

アンケートの意見にもあるように、本学の薬学部卒業生が在職している薬局も多く、学生の皆さんは福岡大学薬学部の豊富な人脈に誇りと頼もしさを感じたようです。

年度の早期体験学習に反映されます。こうしてプログラムは、学生の皆さんと教職員によって、ますます円滑さを増し、高度なレベルに磨きあげられていきます。課題責任者の金城教授は、この早期体験学習についてこう語りました。「このプログラムは、6年制への切り替えを行った平成18年から実施しています。当初は6年にわたる長い学習のモチベーションを維持することを大きな目的としていましたが、SGDを導入することにより、コミュニケーション能力が向上するという効果も生まれました。見学先での質問の仕方やあいさ

つなどを見ると「入学した頃よりずいぶん大人になったな」という感慨を持ちました。また、見学先で本学薬学部卒業生の絆の強さを知り、学部の掛け替えのない財産であることを再認識しました。

「薬剤師としての自分像」を明確に描く。それは6年間の学びの基礎となるとともに、自分の可能性を広げていく大きな機会です。1年次早期の貴重な体験と、この体験を通じて得た友人たちは、学生の皆さんのこれからの、大きな支えとなるでしょう。

プログラムは入学直後の4月から始まります。学部指導懇談会の時に22の少人数担任クラス(各クラス7〜13人程度)に分け、教員が「早期体験学習」の目的を説明します。学生は少人数グループ討論(SGD)を9月まで毎月行い、体験学習での服装やマナーから、何を学ぶか等について討論し、討論内容を盛り込んだポスターを制作します。このSGDが、プログラムの大きな特色の一つです。Learning(学習)主体のSGDは、Teaching(講義)主体と異なり、学生の能動性が重視されます。討論を重ねることで一人一人が明確な目的意識を持ち、また友人をつくる良い機会にもなるようです。



「薬局、病院、製薬会社など産学が連携しての早期体験学習。少人数グループでの事前・事後討論も、大きな効果が」と話す金城教授。

- 研修先から
ご回答いただいたアンケート結果
回答数
104
- 1 学生の見学態度はいかがだったでしょうか?
大変良かった(12)
真面目だった(12)
熱心に話を聞いてくれた(14)
質問も準備し、積極的に学習していた(14)
積極的に質問していた(12)
 - 2 学生の服装などはいかがだったでしょうか?
良かった(15)
学生らしく清潔感があった(12)
清潔な白衣で好感が持った(10)
 - 3 要望等がありましたらお願いします。
今回のような学生だったら、今後も協力したい(4)
「到達目標」があったので教えやすかった(3)
卒業生としてこれからも立派な薬剤師を輩出してほしい(4)

就活日記 MY チャレンジ

今回は、卒業後に転職された卒業生から、学生の皆さんに向けてのメッセージをいただきました。決して転職を推奨しているのではなく、皆さんの大学生活がより充実したものとなるために、ぜひ役立ててほしいと願っているからです。



経済学部経済学科
1990年卒業
菊次 真由美さん

【特定社会保険労務士】
菊次人事サポートオフィス

資格取得後、専門学校の社会保険労務士講座の非常勤講師になりました。さまざまなことを経て、「社会保険労務士」を生業の仕事にしようと思ったのは2003年。そして40歳を機に事務所移転、事務所名も

「一般職での再就職は難しい状況になっていました。そこで、これまでのキャリアに結びつく、かたちに残るもの——資格を取ろうと思つて」。総務や人事の仕事に携わることの多かった菊次さんは「社会保険労務士」という資格に出会います。仕事は企業の社会保険や労働保険の手続き代行や労働関係のコンサルティングなど。しかし、この仕事を

1990年。就職活動中はバブル景気の頃でした。今では考えられないほどの売り手市場。菊次さんはその状況に甘えることなく、懸命に努力して3社の内定をもらい、オフィス機器を扱う大手企業に就職しました。しかし、その仕事はどうしても合わず半年で退職。それから仕事歴が始まります。気が付くと20代も終わろうとしていました。

「人間としての成長」を何より大切に、後悔のないよういつも前向きでいてほしい。

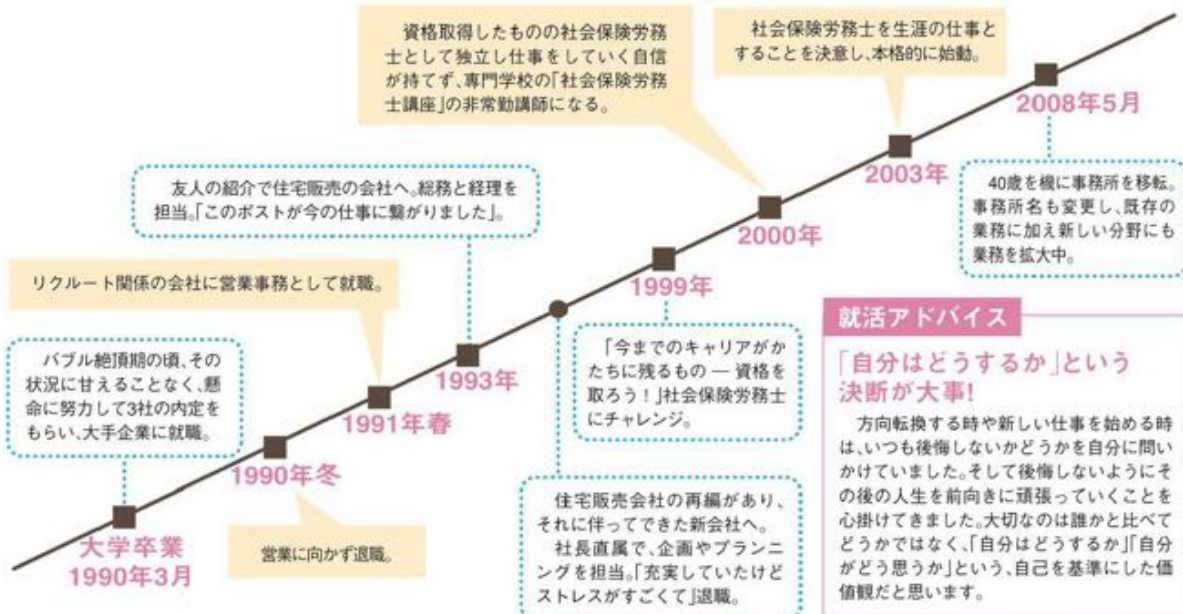
「人間としての成長」を第一に考え、紆余曲折を経ながらもキャリアを磨き続けた菊次さんの歩みは、学生の皆さんに一つの示唆を与えてくれるようです。

「就職が決まったものの、第一志望に進めず挫折感を感じている人もいます。また就職活動を始めるにあたり、自分にはどんな仕事に向いているのかと悩む人もいます。もちろん、就職がまだ決まらない人も……。私はさまざまな人生の分岐点に立った時、自分はどうするか、自分がどう思うかを基準に決断してきました。誰かと比べてどうだということはないですから、学生の皆さんにも自分自身の軸をしっかりと持つてほしいですね。」

変えたのは2008年。いつの間にか卒業して18年がたっていました。菊次さんは長い歳月をかけ、さまざまな人との出会いの中でキャリアアップしていききました。そして「信頼と誠実」をモットーにしっかりと実績を重ねています。時間はかかりましたが、自分のペースで「なりたい自分」を探し、その確かなイメージを実現したのです。

「就職が決まったものの、第一志望に進めず挫折感を感じている人もいます。また就職活動を始めるにあたり、自分にはどんな仕事に向いているのかと悩む人もいます。もちろん、就職がまだ決まらない人も……。私はさまざまな人生の分岐点に立った時、自分はどうするか、自分がどう思うかを基準に決断してきました。誰かと比べてどうだということはないですから、学生の皆さんにも自分自身の軸をしっかりと持つてほしいですね。」

適職へのチャート



就活アドバイス

「自分はどうするか」という決断が大事!

方向転換する時や新しい仕事を始める時は、いつも後悔しないかどうかを自分に問いかけていました。そして後悔しないようにその後の人生を前向きに頑張っていくことを心掛けてきました。大切なのは誰かと比べてどうかではなく、「自分はどうするか」「自分がどう思うか」という、自己を基準にした価値観だと思います。

Fの鼓動

動いている。何かを探し、何かをつかもうとしている。聞こえてくる。福大生たち、それぞれの熱い鼓動が。



「国境なき医師団」を目指してスーダンへ。ジグザグ、ジグザグ。人としての表面積を広げていく。

商学部第二部商学科3年次生 菅井 悦子さん
〔(株)エクサム福岡支社勤務 治療コーディネーター 看護師〕



「国境なき医師団」は、医療・人道援助を目的とした国際的なNGO。危機に瀕した人々への緊急医療援助を主な目的とし、医師、看護師をはじめとする4,600人以上の海外派遣スタッフが、24,000人の現地スタッフとともに、世界65カ国で援助活動を行っている。1999年にノーベル平和賞を受賞した。

ターニングポイントは2007年に訪れた。ある夜、横になっていたら、突然「大学で学びたい」と思った。仕事を辞めるわけにはいかない。夜間部のある大学……。福岡大学！春、4月には学生になっていた。「知識が専門分野に偏っている。大学に行けば多角的に学べるから」という理由もあった。ただ、やみくもに新しいことに挑戦したかった。私は、いつも考えるより行動が先。自分でも時々あきれてしまう。

高校卒業後、2年間アルバイトをしながら遊んでいた。やりたいことがなかなか見つからない。まあ、いいか。人生は長いんだから。そんな時、TVのドラマを見て看護師という職業に興味を持った。すぐに看護学校へ入学した。決断すると行動は速い。決めたことは、とことんやる。懸命に勉強して看護師の資格を取り、13年間、病院に勤務した。長年の病院勤務。この頃ちょっと停滞している。新しいことに挑戦したい。気が付いたらニュージーランドに旅立っていた。価値観や文化の違う外国でさまざまな人に会い、目からウロコが落ちた。いつか海外で働きたい。NGOで働きたい。そんな夢を抱いて帰国。求人では「治療コーディネーター」という職業を見つけた。新しいことへの挑戦心がまた、むくむくとわいてきた。次には治療コーディネーターになっていた。



新しいことへの挑戦が、自分の生きがいかも、と笑う菅井さん。

自分はその時々で真つすぐに進んでいるつもりだけど、振り返りたらジグザグしてる。まあ、いいか。人生は長いんだから。

大学入学後、抱いていた夢にも挑戦を始める。「国境なき医師団」に参加したい。NGOでの活動経験があれば優先的に入れると聞いた。「私は金の卵です。情熱的なアビールで「ロシナンテス」というNGOに採用。大学1年次の9月から翌年4月末までスーダンの村で活動した。大学はその間、休学。私がしてきた活動は自己満足かもしれない。おこがましいことかもしれない。スーダンでの交流が、NGO活動へのスタンスを見直すきっかけになった。そして復学。福岡大学で「アフリカくらぶ」というサークルを作った。一からまた始めてみよう。この小さな輪が少しずつ広がって、福大生が国際貢献活動に熱くなってくれればいい。そうも思っている。

派遣先の福岡大学病院で治療コーディネーターの仕事が終わると、道を渡って教室に走り込む。仕事と勉強を渡って教室に走り込む。仕事と勉強を渡って教室に走り込む。



福大生とJICAやNGOとのイベントを含めた活動をしている。



アフリカ・スーダンで。今年の秋にもスーダンを訪れた。

強とサークル活動の傍ら、英会話教室にも週2回通っている。睡眠時間はいつも最初に犠牲になる。「でも、福岡大学で学んでいることが、社会人の私にとって日々役立つ」。直線はどんなに伸びてもただの線。行ったり。ジグザグ、ジグザグはその気になれば自分という出発点に戻る。戻って来た分だけ、自分の表面積が広がっている。

「長男の時代」を受け継ぐ、 気骨ある熱血漢。

九州旅客鉄道株式会社（JR九州）
鉄道事業本部 新幹線全線開業準備室 企画 鹿島敬宏さん
福岡大学法学部法律学科 2005年卒業



つばめ
旅する新幹線



新幹線の開業に
携われるなんて、
誇れる仕事です。
やりがいがありますね。

鹿島敬宏さんは現在、九州新幹線の全線開業に向けた部署に所属しています。今年の4月1日に発足した新幹線全線開業準備室は、全線開業に関連することを総合的に調整するもので、営業・運輸・施設・電気などの各部門から集まった9人で構成されています。鹿島さんは「運行に関する何でも屋ですね。イベントの企画とか、関連会社との調整とか、あらゆるソフト部門を担当しています」と説明してくれました。企画セクションは2人。「これから大変です」。

九州新幹線は全線が開業すれば山陽新幹線と直結、大阪・鹿児島間を約4時間で結びます。「人の流れが変わりますよ。どんな新しい可能性が生まれるか、今から楽しみです」。九州新幹線の全線開業まであと少し。「今しかできない仕事です」。鹿島さんにとって、準備室は入社以来思い描いていた、理想の職場でした。「将来、子どもや孫に『あれは私が携わった仕事だよ』って誇れる仕事ですからね」。家族に誇れる仕事。それは戦後の日本経済復興・成長期に新幹線を開発した、旧国鉄の大先輩たちにも通じるモチベーションです。

大学時代の読書と経験、
多くの人との出会いが
私をここまで導いて
くれたような気がします。

鹿島さんが初めて柔らかな笑顔を見せてくれたのは、大学時代を語っている時でした。

クトクラブ（ロータリークラブのジュニア部門）で奉仕活動にも参加。「ほとんどが社会人の方で、大人の視野というものを学べた気がします」。この活動を通して一般企業にも目が向くようになり、社会にも貢献できるインフラ整備に興味を持ちました。そうして就職先に選んだのは、JR九州。「大学時代の読書と経験、多くの人との出会いが私をここまで導いたような気がします。大切なのは、やはり人の縁ですね」。

正面から鋭い目を向けて話す鹿島さんに、ふと思いついたことがありました。「鹿島さんは長男ですか？」と尋ねると、「ええ。4人兄弟の長男です」との返事。気合、根性、意気、周りを引っ張っていく力。強い競争心とは裏腹の、家族や友人への心配り。周囲への目配り、気配り。それは長男が持つ特質？ 家長の人格なのでしょう。日本にはかつて「長男の時代」がありました。久しぶりに気骨ある長男に出会った気がします。

会社の人間としてではなく、
一人の人間としてやっていく。
常にポジティブでありたい。

「生意気な新入社員でした」。入社当時を振り返り、鹿島さんはそう言います。正しいと思ったら主張を曲げない。思ったことは相手が上司であれ、遠慮せず言う。出るクイは打たれながら、さらに強くなり「なかなか骨のあるやつ」と認められるようになったのかもしれません。しかし現在のポストに就いても、鹿島さんのエッジはまだ尖ったままです。

「看板に頼らない。その会社の人間としてではなく、一人の人間としてやっていきたい。そして、上司の受け売りですが、常にポジティブであらうと心掛けています」。その言葉は、そのまま福大生へのメッセージでもあります。



「10年後も新幹線に携わっていられたら最高ですね」と話す鹿島さん。



全線開業前に、新幹線の高架上を歩くイベント、レールウォークも企画しています。



最年少の新幹線全線開業準備室メンバーとして登壇中。



スキー部でクロスカントリーに打ち込んだ大学時代。「目配り、気配り、心配りを徹底的に教わりました」。

COLUMN

平成23年春に九州新幹線全線開業！「新800系つばめ」も完成

九州新幹線鹿児島ルートは、現在、新八代～博多間の工事が進められており、平成23年春に全線開業する予定です。開業に先駆けて、ユニバーサル&エコデザインに配慮し、機能美を追求した「新800系つばめ」が新登場。なんと内装には全箔が！

開業時に山陽新幹線と相互直通運転（新大阪駅～鹿児島中央駅）する新幹線の列車名が「さくら」に決定するなど、開業に向けて話題も豊富に。また新博多駅ビルや、新幹線各駅の建設事も着実に進行しています。ちなみに博多駅～鹿児島中央駅の所要時間はなんと最速1時間20分（予定）、休み中の帰省が、ぐんと楽になりますね。



新博多駅ビル完成予想図

鹿島さんの人間形成のもう一つの柱は、読書でした。「司馬遼太郎から村上春樹まで、好奇心がおもむくままに本を読んできました。読書を通じて、想像力・文章力・読解力を身に付けることができたと思います」。大学生の早い時期から、年間100冊程度読む習慣も付いていました。また、1年次から福岡西ロータリーア

第9回 寄付者ご芳名一覧

算金に関するお問い合わせ先
福岡大学 創立75周年記念事業募金事務室
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL 092-871-6631(代) 内線2120～2122
FAX 092-871-6826
E-mail bokin@adm.fukuoka-u.ac.jp

福岡大学創立75周年記念事業募金の趣旨にご賛同いただいた皆さま方から、任意のご寄付にもかかわらず、多大なるご協力ご寄せられておりますことに深く感謝いたしております。ここに、ご寄付をいただきました方々のご芳名を左記要領のとおり掲載させていただきます。なお、本募金は平成22年3月末まで実施いたしておりますので、ご支援を賜りますようよろしくお願いします。

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

万円	様	様	様	万円	様	様	万円	様
----	---	---	---	----	---	---	----	---

樣 樣 樣 樣 樣 樣 樣

樣	江 萬円)	料 萬円)	樣	樣	萬円)	樣
---	----------	----------	---	---	-----	---

寄付者ご芳名一覽

[illegible][illegible]

貞崎	前川	前川	前川	堀	別府	古田	藤本	藤本	藤田	富士	藤川	福川	廣川	平山	平野	平野	平野	都野	樋口	樋口	番匠	春木	原田	原田	林田	林田	濱田	馬場	服部	秦	萩原	萩原	野田	山口	西山	西村	西村	錦織	那須	中元
勝彦	秀徳	長年	義弘	和則	聰子	敏弘	正博	千寿	徹夫	士代芳	玄樹	浩平	克彦	義孝	安邦	道雄	康子	孝生	亮	直哉	幸次	久夫	光相	正紀	博志	佑太	正志	保正	秀文	見二郎	理栄	純一	英実	昭典	武志	公浩	一弘	裕利	和代	

[illegible]

吉川	横山	山本	山本	山中	山下	山崎	矢野	柳瀬	安田	安田	森井	森山	森田	森田	森村	村上	村上	宗像	向井	宮原	宮田	宮田	宮崎	宮内	賀原	見月	三島	三浦	松本	松尾	松林	増井	
忠臣蔵	雄一	竜也	一雄	雅夫	聡子	高登	啓三	天祥	好生	加寿美	栄泰	洋治	直行	正康	郁子	孝文	一索	光輝	智生	正道	弘之	信之	幸也	邦雄	勝彦	清成	武之	聖高	明弘	貴洋	美香	信二	保夫
史忠	謙二	山本	山本	山中	山下	山崎	矢野	柳瀬	安田	安田	森井	森山	森田	森田	森村	村上	村上	宗像	向井	宮原	宮田	宮田	宮崎	宮内	賀原	見月	三島	三浦	松本	松尾	松林	増井	

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

職員 友田 大東 光平
中橋 英二 友田 大東 光平
中村富一郎 成富 昭彦
成富 昭彦 西野 秀二
西野 秀二 羽添 弘敏
羽添 弘敏 瀨田 信富
瀨田 信富 平川 雅一
平川 雅一 藤野 弘
藤野 弘 藤平 克亮
藤平 克亮 松谷 直人
松谷 直人 森 淳彦
森 淳彦 安川 清木
安川 清木 山田 史
山田 史 山本 秀雄
山本 秀雄 吉住 純生
吉住 純生 行正 仁志
行正 仁志 吉田 晃
吉田 晃 吉田 昭臣
吉田 昭臣 吉村 光隆
吉村 光隆 林光院武久
林光院武久 渡辺 武三
渡辺 武三 橋崎 正嗣
橋崎 正嗣 飯口 宣弘
飯口 宣弘 鈴木 昌格
鈴木 昌格 水田 石
水田 石 箕浦 信行
箕浦 信行 田中 順子
田中 順子 谷 幸子
谷 幸子 藤田めぐみ
藤田めぐみ 吉川ゆかり

[illegible][illegible][illegible]

國崎 正敏	大熊健太郎	四万円	匿 名	持山 健一	松本 祐一	松原 公紀	前田 祐一	松田 久男	廣田 一紀	新矢 時亨	長友 謙	藤 恵治	寺本 芳雄	椿原 晋合	武末 純一	高木 功	倉原 琳	竹下 博幸	居城 克治	岡部 中	岡部 理人	榎原 山喜	木村 嘉一	久木 元俊	坂本 真美	八万円	廣瀬 伸一	匿 名	星乃 治彦	久野 明	東島 敏子	原 周	原 勇壯
-------	-------	-----	-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	------

[illegible]

卒

（前身となる学校は

卒業生		山崎 郁広	匿名 名	匿名 名	匿名 名	山中 孝行	山中 裕樹	脇田 英石	大和 重雄	矢野 章子	安河内 良祐二	川瀬 治邦	牟田口 路生	宮本 寛	宮原 光司	松本 高寛	別府 康敬	古川 達也	藤井 雄一	深村 隆行	橋川太朗	野村 慎一	西山 千里	鍋山 敏郎	中村 美和子		
1 福岡大		(前身となる学)		久保 次郎	城笠 哲史	衣笠 正喜	小市 善行	上野 清司	土田 佳介	太田 泰夫	三崎 いづ子	宮崎 いつ子	五十万円	百万円	古賀 定宗	高山 厚志	北園 香志	松岡 由里	柳戸 正樹	水戸 正義	早稲田 隆興	二十万円	橋本 義雄	十五万円	野田 寛	村田 清一	十二万円

様様 円様 様様様様様様様 円様様様様様様 様 含む 様 様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様

木下	久保山	北川	川畑	沖方	緒方	大森	牛島	猪俣	石井	石丸	有吉	岩崎	安武	諸井	松屋	林平	長谷川	新田	中目	福田	執行	窪田	岸野	河野	梯	國	植田	稲垣	伊藤	石橋	湯下
眞平	澄	尚子	咲子	周	大越	幸彦	直機	入部	俊秀	明司	元明	孝一	正陽	政司	亮樹	重義	昭夫	佳示	卓郎	三寿	智子	真知	泰至	通孝	洋子	德博	由美子	聡子	康治	裕男	秘男

[illegible]

古賀 弘彦	小曾 我次	堺 孝明	相良 貞一郎	佐藤 朝光	重田 正義	陶山 和香子	芹川 孝一	高嶋 雅樹	高田 勝秀	武末 佳子	鶴岡 敏夫	土井 博久	中野 克彦	中野 孝隆	中島 喜彦	中島 正村	島崎 隆枝	西村 裕昭	西村 優子	橋本 卓	平川 浩	藤本 清明	藤山 俊一郎	藤山 喜喜	三井 栄治	宮本 重信	櫻木 豊彦	山本 親広	吉村 清司	吉村 名	赤城 哲哉	川端 一男	古原 三武	古藤 時子	櫻井 博文	武田 研	谷脇 幸久	津田 雄雄	羽波 兼孝	羽波 彰秀	濱村 昭二	原田 和明
-------	-------	------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

$\frac{N}{M}$

安野	緑川	丸山	松本	松林	松原	前原	細谷	廣重	久野	野村	野村	西川	中里	田中	武田	高井	清水	紫田	佐藤	境	小松	香取	倉元	河原	岡村	大坪	大田	梅崎	魚邊	上野	石井	青木	時澤	三萬	渡邊	山田	眞鍋	東中
嘉郎	信義	孝士	孝士	哲哉	景三	宏基	英作	正弘	保代	幸一	七郎	拓也	信市	政治	高文	朋夫	勇起	武彦	清澤	子代	信行	芳子	太郎	原	芳子	直人	陰松	陽子	英資	繁人	新郎	正次郎	郁夫	秀喜	忠相	仁輔	智也	

[illegible][illegible][illegible]

今村眞理	井村義泰	入部崇昭	岩男寛二	岩田文雄	岩田俊一	岩水忠康	岩丸幸徳	岩本聖孝	牛嶋功一	牛島隆治	内田博子	内田佳江	内山幸治	内山英樹	山崎美咲	梅本芳明	江頭路子	江崎祐昭	江藤伸也	榎田純子	榎田裕太	大石行雄	大塚昭三	太田智加	太田万理	太田勝昌	大部清道	大數承宣	園田裕子	園田真行	園田小川	尾形彰徳	尾野弘二	越野哲郎	茶田久史	小島紀夫	海田由美	植木まゆみ	柏木和之	片岡和之	片岡繁文	片山綾子	片山忠信	片山孝行	甲本常士	勝原正人	勝原優一	門脇弘明	金丸香禎	金光正義	鎌田修	角井圓修
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------

[illegible][illegible][illegible]

田中	田中	田中	田中	立敷	竹原	武田	武田	武内	高橋	高倉	榮矢	宗屋	關根	鈴木	杉本	杉本	菅尾	末樹	陣内	白石	小代	下川	下川	清水	島津	嶋田	嶋田	柴田	實志	塩見
田中	秀男	直孝	中重	鶴雄	盛彦	信治	利市	久保	一太郎	清知	優喜	正吉	孝浩	博幸	庄平	紀賢	尚佳	政經	安住	智子	典子	忠徳	貴子	貴宏	泰隆	昌昭	廣成	信二	隆全	香柳
田中	辰郎	寛孝	中重	中重	盛彦	信治	利市	久保	一太郎	清知	優喜	正吉	孝浩	博幸	庄平	紀賢	尚佳	政經	安住	智子	典子	忠徳	貴子	貴宏	泰隆	昌昭	廣成	信二	隆全	香柳

[illegible]

福岡大学決算2008レポート

平成20年度 学校法人福岡大学収支決算について

「選ばれる大学」を目指し、経営の健全性を維持しながら教育・研究基盤整備と大学の特色強化を推進していきたい

福岡大学の1年が数字で如実に表現された決算。それはまた、今後の課題やビジョンなどの道標でもあります。藤原副学長から、監査報告を説明していただきました。



学校法人 福岡大学
常務理事 財政担当副学長
藤原 道弘

学校法人福岡大学の平成20年度決算は、去る5月28日開催の理事会および評議員会において承認されました。それに先立ち、平成21年5月18日から22日までの5日間、学校法人福岡大学監事2人が公認会計士2人および補助者1人を伴い、監査を行いました。

その結果、学校法人福岡大学の業務については法令もしくは客附行為に違反する重大な事実のないことを認め、併せて計算書類は学校法人福岡大学の平成21年3月31日現在の財政状態および同日をもって終了する会計年度の経営状況を正確に表示しており、基本金組入れは妥当であることが認められました。

大学全入時代の本格的到来を迎え、教育・研究ならびに医療を取り巻く社会・経済情勢が厳しさを増す中でも、財政の許す範囲内で大学力を一層強化するための施策に対応しました。今後も中・長期的視野で財政基盤の安定を図りながら、全人教育を重視し、魅力ある大学づくりに向けて全学的に教育研究・医療活動および学生サービスの機能強化を推進しなければなりません。関係各位のご理解とご協力をお願いする次第です。

学校法人福岡大学監事からの報告および要望

1 大学の経営環境について

日本の18歳人口は、1992年の約204.3万人を最近のピークとして2001年には132.7万人に減少し、2008年には109.3万人となり、今後も回復の可能性は期待できない状況にある。一方、進学率は1991年の25.5%、2001年の39.3%、そして2008年には49.1%と飛躍的に上昇している。

【資料・財文教協会「全国大学一覧」】

九州においては、道州制議論の進展や2011年の九州新幹線開通などを通じて、福岡の社会インフラは今後の魅力が高まってくるものと予想される。このような状況の下で、当大学は西日本地区における私学の拠点大学として、九州域内の進学希望者が当大学を選択肢とする対策が必要である。

そのためには、当大学の健全性の維持・経営の効率化・限られた資源の有効活用などを各年度の事業計画に織り込み、その成果管理を強化して教育・研究基盤整備と特色強化が求められている。

2 内部監査の充実について

内部監査室を中心に定期監査やフォローアップ監査の実施などにより各部署の各年度の事業計画や業務計画に基づく業務遂行の意識は強化されていると思考される。

しかしながら、当大学の運営の基本である年度事業計画や各部署の業務計画に対する理解度・意欲度にはばつきが見られる。

大学経営環境の厳しさが増す中で、組織一丸となった計画達成・遂行の意識高揚が求められる。この対応としては、各部署が全学的な課題・要望事項を理解し、執行部が責任分担するとともに、内部監査室の人員増強を図り、各部署の業務計画達成の実績を公表して、評価・分析することによって必要ではないかと思われる。

学校法人福岡大学の財政状況を示す主要項目の実績推移

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
増収収入	602	610	611	634	631
消費支出	532	568	560	585	582
増収収支	70	42	51	48	49
純資産増減	1,595	1,637	1,689	1,737	1,786
基本金増減	1,544	1,617	1,717	1,779	1,824

(増収収支＝増収収入－消費支出)

増収収支差額比率

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
福岡大学	11.7	6.9	8.4	7.6	7.8
全国平均	5.2	6.1	4.9	3.8	—

5 福岡大学病院と福岡大学筑紫病院について

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
福岡大学病院	193	197	197	204	205
福岡筑紫病院	72	76	74	79	80

3 入学志願者と就職率について

入学志願者数は、厳しい環境が続いている中で理系系の志願者が回復していることもあり、直近3カ年は増加しており、関係者の日頃の努力に感謝したい。今後、少子化の進展で大学は選ばれる側に転じてくるので、より一層質・量両面において優秀な学生確保の対策が求められる。

就職率の状況は、世界金融危機による雇用悪化の影響が見られ、残念ながら20年度は91.6%と前年比減少している。今後は大学の出口である就職状況が入口である学生募集にも影響を与える時代となるので、就職対象先とのリレーション強化が求められる。

入学志願者の推移(含む大学院)

入学年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
入学志願者	41,631人	39,148人	41,518人	41,755人	43,174人
倍率	100.0	94.0	99.7	100.3	103.7

(ピークは平成2年度の60,757人で、これを100とすると21年度の倍率は71.1となる)

就職率の推移

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
男子	92.1%	91.4%	92.5%	93.5%	92.3%
女子	86.3%	89.7%	92.0%	93.3%	90.5%
全体	89.8%	90.7%	92.3%	93.4%	91.6%
人数	100.0	101.0	102.8	104.0	102.0

文部科学省・厚生労働省調査の大学生就職内定率

	19年度	20年度	対前年比
男子	89.2%	86.5%	△2.7
女子	88.2%	86.2%	△2.0
全体	88.7%	86.3%	△2.4

文部科学省・厚生労働省調査の地域別就職内定状況

	19年度	20年度	対前年比
北海道・東北地区	79.0%	79.0%	87.8%
関東地区	88.6%	88.6%	83.3%
中部地区	88.0%	88.0%	83.3%

平成21年度文部科学省プログラムに採択される

平成21年度文部科学省プログラムに、本学関係の次の4件が採択されました。

プログラム名称	申請課題名	学部・大学院等(取組担当者)
大学教育・学生支援推進事業(テーマB)	多様性社会に呼応した主体的進路選択型の就職支援プログラム	全学(就職・進路支援センター長)
大学教育充実のための戦略的連携推進プログラム(総合的連携型、区分B)	看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想	(代表)福岡県立大学(連携)福岡大学(医学部看護学科、中嶋恵美子准教授)、琉球大学、大分県立看護科学大学、沖縄県立看護大学、国際医療福祉大学、西南女子学院大学、聖マリア学院大学、日本赤十字九州国際看護大学、福岡女学院看護大学、活水女子大学、九州看護福祉大学、名桜大学
大学病院連携型高度医療人養成推進事業	北部九州における循環型高度医療人養成事業—大学病院連携による地域医療活性化	(代表)九州大学(連携)福岡大学病院(臨床研修センター長)、佐賀大学病院
教育研究高度化のための支援体制整備事業	ワンキャンパス集積型総合大学の教育研究高度化推進支援プロジェクト	大学院(大和竹史副学長)

福岡大学給費奨学金を208人に給付

7月6日(月)、60周年記念館3階ヘリオスホールで福岡大学給費奨学金の授与式を行いました。これは「人物・学業成績ともに優秀でありながら、経済的な理由で学業継続に支障を来す恐れのある学生を援助し、優れた人材育成を目的とする」もので、今年度は昨年度の約2倍を超える208人に奨学金(文系学部30万円、商学部第二部15万円、理系学部50万円)を給付しました。



17号館および18号館が竣工

昨年7月に着工していた「17号館」が8月21日(金)に、昨年10月に着工していた「18号館」が8月31日(月)にそれぞれ竣工しました。



講義室、SGD室、学習室のほか、6年制実務教育の中核である長期実務実習へ備えるための講義実習室や製図室などが入った地下1階地上7階建ての17号館
理学部別館として、地球園科学科とインスティテュートの研究室、講義室、実験室、実習室および図書館理学部分室などが入った6階建ての18号館

権威ある学生書道展で本学から二人が大賞受賞、団体の部でも本学書道部が昨年に引き続き快挙

社団法人日本書芸院主催「第14回全日本高校・大学生書道展」(応募総数12,501作品)で、池田真悠子さん(文学部4年次生)と福徳亮さん(薬学部3年次生、書道部員)が最高賞である書道展大賞を受賞しました。また、展賞に6人、優秀賞に5人が入った本学書道部は、団体(大学)の部でも259校中8位となり、昨年に続く快挙を成し遂げました。

学生を対象とした展覧会では最も権威ある公募展といわれる同展での連続受賞は、本学にとっても大変名誉なことで、本学正門の「福岡大学」の揮毫者でもある大原蒼龍講師の指導のもと、日々、書技の研さんに努めている部員の皆さんの成果ともいえます。おめでとうございます。

平成21年新司法試験に修了生7人が合格

9月10日(木)、平成21年新司法試験合格者が発表されました。本学法科大学院から38人が受験し、7人が合格しました(既修者2人、未修者5人)。合格率は18.4%(全国平均合格率27.6%)。

平成21年度福岡大学特待生を表彰

6月29日(月)、831教室で平成21年度福岡大学特待生の表彰式を行いました。学業成績ならびに品行の特に優秀な学生として選ばれた205人を表彰し、奨学金(30万円、ただし商学部第二部は15万円)を授与しました。特待生の皆さん、おめでとうございます。



福岡大学への寄付者ご芳名一覧

本学に対し多大なるご寄付を賜り、深く感謝いたします。ここに、平成21年1月1日から6月30日の間にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

- 154,900,303円
福岡大学父母後援会 様
- 48,029,704円
福岡大学附属大濠高等学校後援会 様
- 17,500,000円
福岡大学同窓会 社団法人有信会 様
- 6,153,409円
福岡大学附属大濠中学校保護者会 様
- 1,000,000円
医療法人 善善会 前田病院 様
- 900,000円
社団法人 日本フードサービス協会 会長 田沼 千秋 様
- 500,000円
蔚山大学校 様
- 300,000円
福岡商科大学同窓会・商大会 様
- 樹木(クロガネモチ)
福岡大学医学部硬式庭球 愛好会OB会一同 様
- 樹木(桜)、デジタルハイビジョン液晶テレビ
平成20年度医学部第32回卒業生一同 様
- 絵画2点
吉川 良雄 様
- 福岡大学附属看護専門学校の第32回卒業生一同 様
- ワイヤレスアンブー式 他1点
スポーツ科学部 平成20年度卒業生一同 様
- 卒業生名簿盾および展示ケース
平成20年度福岡大学附属大濠中学校卒業生一同 様
- 呼吸動悸監視装置 他1点
エンジニアリングシステム株式会社 様
- (福岡大学病院)医療助成積立金への寄付(ご芳名のみ)
高木 喜久子 様

平成20年度 学校法人福岡大学収支決算について

■貸借対照表 (決算規模2,134億円)

(単位:千円)

科 目	資 産 の 部		
	本年度末	前年度末	増減
固 定 資 産	187,761,833	180,416,915	7,344,918
有 形 固 定 資 産	95,263,777	86,701,158	8,562,619
土 地	16,963,885	16,963,885	0
建 物	42,720,555	43,896,600	△ 1,176,045
構 築 物	3,628,622	3,891,482	△ 262,860
教育研究用機器備品	7,913,985	7,629,979	284,006
その他の機器備品	88,358	65,622	22,736
図 書	14,430,912	14,170,913	259,999
車	45,853	57,882	△ 12,029
土地購入前借金	180	0	180
建設仮勘定	9,471,427	24,795	9,446,632
その他の固定資産	92,498,056	93,715,757	△ 1,217,701
電話加入権等	109,477	106,138	3,339
収益事業元入金	787,289	787,289	0
貸付金	782,176	881,975	△ 99,799
貸与奨学金	4,254,142	4,203,865	50,277
差入保証金	46,798	46,798	0
引当特定資産	86,518,174	87,689,692	△ 1,171,518
流動資産	25,676,884	24,082,211	1,594,673
現金預金	19,109,321	17,458,419	1,650,902
未収入金	5,986,739	6,048,024	△ 61,285
材料	116,455	111,695	4,760
貯蔵品	15,659	15,865	△ 206
立替金	9,773	3,031	6,742
前払金	393,281	397,230	△ 3,949
仮払金	45,656	47,947	△ 2,291
資産の部合計	213,438,717	204,499,126	8,939,591

校舎、寮、体育館等の建物および建物附属設備(空調等)の額のことです。

教育研究のために使用される機械設備等の額のことです。

学生生徒等に貸与している奨学金の額のことです。

将来の特定の目的のために使用する資産のことです。

現金およびすぐ引き出すことのできる預貯金のことです。

決算日(3月31日)における補助金等の未収額のことです。

返済期限が1年を超えて到来する借入金のことです。

20年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額のことです。

返済期限が1年以内に到来する借入金のことです。

翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金等のことです。

財政的な基盤を確保する額のことです。福岡大学が安定的かつ持続的に経営していくために必要額です。

資産から負債と基本金を差し引いた額です。プラスは収入超過(累積赤字)を、マイナスは支出超過(累積赤字)を表します。

貸借対照表の概要

(前年度決算との比較) 注: ↑増加を示す ↓減少を示す

資産の部 資産総額は89億円の増加。
 ●純資産(資産総額から負債総額を差し引いたもの)は1,786億円で、49億円の増加。
 ●資産総額に占める純資産(自己資金)の割合は83.7%で、1.2ポイント減少。
 ●引当特定資産
 第2号基本金引当特定資産等で12億円の減少。

負債の部 負債総額は40億円の増加。
 ●長期借入金
 福岡大学病院新診療棟(仮称)新築工事に伴う借入金の増加。

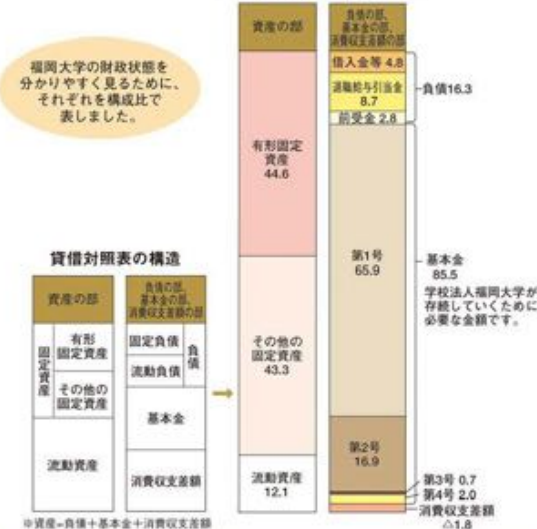
基本金の部 基本金総額は45億円の増加。
 ●第1号基本金
 薬学部棟別館(仮称)新築、理学部棟(仮称)新築、大濠中学校・高等学校校舎及び体育館(仮称)新築等に係る組入れによる。
 ●第3号基本金
 福岡大学奨学金に対する組入れによる。

消費収支差額の部 翌年度繰越消費支出超過額を38億円計上。

＜福岡大学を取り巻く環境＞

大学入時代の本格的到来を迎え、今後は学納金収入、手数料収入の増収は期待できません。また、施設・設備費、人件費および教育研究経費等の増加により収支の悪化が予想されます。したがって、限られた収入の中で効率的な運用を図り、収支の均衡を保ちながら、教育研究・医療活動および学生サービスの向上と経営の安定に努めています。

※平成21年3月31日現在の財政状態



福岡大学の財政状態を次の2つの視点から見てみます。

- ① 現有資産が自己資金によるものか負債によるものか。
 - ② 必要な資産を現時点で保有しているのかないのか。
- さらに、日本私立学校振興・共済事業団発行の「今日の私学財政」を基に、医療他複数学部大学法人平均との比較で評価を行いました。医療他複数学部大学法人平均と比較して、財政状態が良い場合は○、同程度の場合は△、悪い場合は×と表記しています。
- ＜福岡大学の財政状態＞**
- ① 自己資金(基本金+消費収支差額)の構成を指数化すると83.7です。この指数は高いほど財政的に安定していると言われています。(評価○)
 - ② 消費収支差額はマイナスであるが、基本金の保有は良好で、将来の施設設備取得に備えての資金も16.9(第2号)含まれています。(評価△)

- ① 消費収支においては、4億円の消費収入超過になりました。
- ② キャンパス整備事業としての第2号基本金組入額15億円を含み、基本金組入額合計で45億円を計上しました。

収入の3本柱

学生生徒等が納める授業料や入学金のこと。講義料や補講料も含まれます。
 収入(帰属収入)の40.0%を占めます。
 国や地方公共団体等からの助成金です。
 福岡大学病院や福岡大学附属病院の医療収入です。

■平成20年度消費収支計算書 (決算規模631億円)

(単位:千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	24,439,890	25,240,319	△ 800,429
手 数 料 収 入	1,309,820	1,359,206	△ 49,386
寄 付 金 収 入	1,230,440	1,087,602	△ 142,838
補 助 金 収 入	4,315,920	5,056,967	△ 741,047
資 産 運 用 収 入	1,528,340	1,602,534	△ 74,194
事 業 収 入	1,168,150	983,600	△ 184,550
医 療 収 入	27,288,780	26,606,563	△ 682,217
雑 収 入	1,112,470	1,125,334	△ 12,864
借 入 金 等 収 入	2,347,000	2,800,000	△ 453,000
前 受 金 収 入	5,476,210	6,043,986	△ 567,776
そ の 他 の 収 入	29,403,070	32,626,323	△ 3,223,253
金 収 入 調 整 勘 定	10,831,460	11,629,042	△ 797,582
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	16,192,310	17,458,419	△ 1,266,109
収 入 の 部 合 計	104,980,940	123,692,790	△ 18,711,850

教職員に支払われる給与等のこと。収入(帰属収入)の51.9%に相当します。

福岡大学が使ったお金または用役に対して支出した金額の合計です。収入(帰属収入)の92.2%に相当します。

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	34,292,160	32,754,667	1,537,493
(退職給付引当金繰入額)	(1,275,280)	(1,225,217)	(50,063)
教 育 研 究 経 費	23,645,880	22,450,148	1,195,732
(減価償却費)	(3,793,630)	(3,766,244)	(27,386)
管 理 経 費	2,460,070	2,404,566	55,504
(減価償却費)	(252,240)	(250,778)	(1,462)
借 入 金 等 利 息	67,140	40,124	27,016
資 産 売 却 差 額	0	541,536	△ 541,536
徴 収 不 能 額	0	1,021	△ 1,021
徴 収 不 能 引 当 金 繰 入 額	0	19,017	△ 19,017
[予備費]	(166,420)	675,900	842,320
消費支出の部合計	61,141,150	58,211,079	2,930,071
当年度消費収入超過額	0	390,360	0
当年度消費支出超過額	5,502,860	0	5,502,860
前年度繰越消費支出超過額	6,520,050	4,175,890	2,344,160
基本金繰入額	—	28,233	△ 28,233
翌年度繰越消費支出超過額	12,022,910	3,757,297	8,265,613
帰属収支差額	1,252,660	4,909,398	△ 3,656,738

(注) [予備費]は未使用額を表し、()内の金額は使用額を示す。

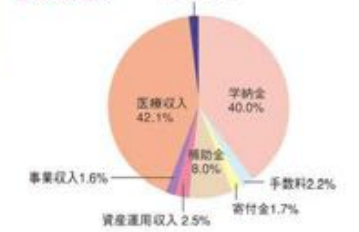
福岡大学が提供した教育・研究・医療等の対価として受け取る収入で、負債とされない収入です。

良好な教育環境を維持するための施設・設備等の額であり、帰属収入から差し引く金額です。

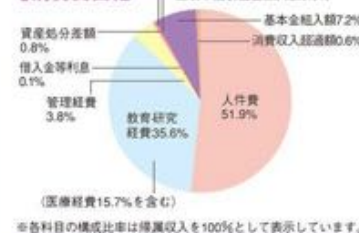
学生生徒等の教育研究のために支出する経費等です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費等です。

■帰属収入



■消費支出



消費収支決算の概要

(予算との比較) 注: ↑増加を示す ↓減少を示す

消費収入の部
 ●学生生徒等納付金 ↑入学金等の増加。
 ●補助金 ↑経常費補助金および研究設備等整備費補助金等の増加。
 ●医療収入 ↓入院患者数および診療単価の減少。

○帰属収入合計は631億円となり、予算比7億円の増加。また、前年比で3億円の減少となりました。

消費支出の部
 ●人件費 ↓教職員数の差異等による減少。
 ●教育研究経費 ↓実験実習費、電力費、医療経費等の減少。
 ○消費支出の合計は582億円となり、予算比29億円の減少、前年比で3億円の減少となりました。

(消費収入と消費支出)
 帰属収入から基本金組入額を差し引いた586億円が消費収入です。この額が消費支出に充てることのできる金額となりますが、平成20年度は582億円の消費支出となり、消費収入と比較すると4億円の消費収入超過となりました。

(帰属収支差額)
 帰属収入から消費支出を差し引いたものを帰属収支差額といいます。平成20年度は49億円の帰属収入超過となりました。

(帰属収支差額比率)
 帰属収支差額の帰属収入に対する割合であり、この比率が高いほど自己資金は充実することになり、経営に余裕があるとみなすことができます。平成20年度は7.8%であり、前年比で0.2ポイント上昇しています。

資金収支決算の概要

(予算との比較) 注: ↑増加を示す ↓減少を示す

収入の部
 ●学生生徒等納付金収入 ↑入学金収入等の増加。
 ●補助金収入 ↑経常費補助金および研究設備等整備費補助金等の増加。
 ●資産売却収入 ↑土地購入等の未執行によるもの。
 ●医療収入 ↓入院患者数および診療単価の減少。

支出の部
 ●人件費支出 ↓教職員数の差異等による減少。
 ●教育研究経費支出 ↓実験実習費、電力費、医療経費等の減少。
 ●施設関係支出 ↓土地購入等の未執行によるもの。
 ●資産運用支出 ↑有価証券購入支出等によるもの。

(資金収支規模と次年度繰越支払資金)
 ●資金収支決算の合計は1,237億円、前年比77億円の財政規模縮小となっています。
 ●資金収支のてん末としての次年度繰越支払資金は191億円、前年比16億円の増加となりました。

(注) [予備費]は未使用額を表し、()内の金額は使用額を示す。

平成20年度に取得した主な施設・設備 ●施設・設備の名称および内容

- ＜施設関係＞土地・建物・構築物・建設仮勘定**
1. 薬学部棟別館(仮称)新築工事(平成19～21年度継続事業)
 2. 理学部棟(仮称)新築工事(平成19～21年度継続事業)
 3. 福岡大学病院新診療棟(仮称)新築工事(平成19～22年度継続事業)
 4. 大濠中学校・高等学校校舎及び体育館(仮称)新築工事(平成19～21年度継続事業)
 5. 8号館3階831教室改修工事
 6. 16号館7階動物飼育施設改修工事(平成20～21年度継続事業)
 7. 理学部棟(仮称)新築に伴う設備盛付工事
 8. 第二記念会堂1階運動生理学他改修工事
 9. 特別高圧変電所建替工事(平成20～21年度継続事業)
 10. 福岡大学病院本館第Ⅲ期統合医療情報システム更新に伴うLAN工事
 11. 福岡大学病院救命救急センター3階電気室保守用電気設備改修工事
 12. 福岡大学病院本館階機械室熱源設備改修工事(平成20～21年度継続事業)
 13. 福岡大学病院本館1階放射線部第二リニアック室改修工事
- ＜設備関係＞機械器具**
1. 微量生体成分分析装置(薬学部・教育装置)
 2. 立体構造解析システム(理学部・研究装置)
 3. 3次元6自由度運動試験装置(工学部・研究装置)
 4. オートマチックセルソーティングシステム(医学部・研究装置)
 5. 生細胞組織内タンパク分子標識追跡システム(医学部・研究装置)
 6. 細胞内生体分子動態解析システム(医学部・研究装置)
 7. タンパク分子相互作用イメージング解析システム(医学部・研究装置)
 8. 高速in vivo X線マイクロCTスキャナシステム(医学部・研究装置)
 9. リニアック治療装置(福岡大学病院)
 10. スタッカート人工心肺装置(福岡大学病院)

●本学公式ホームページでは、詳細な決算情報を公開していますのでご覧ください。

法学部	准教授	井上 積男	放送・通信「融合」期における日仏比較公法学研究
法学部	准教授	北坂 尚洋	離婚事件およびその他の家事事件の国際裁判管轄権に関する立法提言に向けた研究
経済学部	准教授	玉田 桂子	生活保護受給が就労に与える影響
理学部	助教	吉田 亨次	水の第2臨界点仮説から見たタンパク質のフォールディング機構の解明
工学部	准教授	池添 昌幸	郊外住宅地の居住再生と街区再編に関する研究
工学部	准教授	柴田 久	影響範囲の特定にくい都市基盤整備事業の環境アセス・スコーピングに関する研究
工学部	助教	高橋 伸弥	ウェブドキュメントを利用した音声認識結果の信頼度推定と音声認識の高精度化
工学部	助教	松山 清	亜臨界CO2 飽和溶液の溶解特性制御による表面修飾ナノ粒子の合成とその構造制御
工学部	助教	山田 正太郎	破砕性砂および粒度の異なる非破砕性砂が示す弾塑性挙動の統一記述
医学部	講師	石井 一成	CD8 陽性T細胞を軸とする新規クラミジアワクチン開発
医学部	講師	梅本 丈二	神経筋疾患患者の咀嚼嚥下機能の調査
医学部	講師	大倉 美穂	自立支援に繋がる福祉用具選定および継続評価のための標準化シートの開発
医学部	講師	喜多 紗斗美	インスリン脂質による心筋カルシウム輸送制御とその病態学的意義
医学部	講師	永井 宏	性同一性障害に対するホルモン療法が心理・認知機能に及ぼす影響についての縦断的研究
医学部	講師	藤本 崇宏	新規癌関連遺伝子KRAP 過剰発現系の樹立とそれを用いた癌でのKRAP 機能研究
医学部	講師	森 誠之	多機能分子CaM によるCa ²⁺ チャネル制御の構造的基盤の解明
医学部	助教	今任 拓也	肥満関連疾患を標的としたVEGF の役割に関する前向き研究
医学部	助教	伊藤 田 拓也	貪食細胞の機能発現においてイオン輸送体が果たす役割
医学部	助教	田中(三宅) 景子	歯周病の環境要因と遺伝要因の交互作用解明に関する疫学研究
医学部	助教	松本 綾	薬毒物に起因する横紋筋融解症の新規マーカー遺伝子の同定及び遺伝子診断法の確立
医学部	助教	山田 小織	住民組織におけるメンバーの活動意欲向上を目指した支援モデルの開発
医学部	P D	田中 智子	同業系幹細胞からのステロイド産生細胞への分化誘導法の確立および分化機序の解明
医学部	准教授	道具 伸也	炎症細胞の脳特異的浸潤における脳血管内皮細胞-脳バリアサイト機構の役割
医学部	准教授	山内 淳史	代謝センサー分子AMPK に着目した統合失調症治療薬誘発エネルギー代謝異常発現機序
医学部	准教授	吉田 秀幸	薬学代謝異常症を対象とした筋筋マスキング法のシステム化に関する研究
医学部	助教	高田(辻) 美友子	脳バリアサイト機能異常に起因した脳神経血管機構破綻による肥満症の進展
医学部	助教	森本 望一郎	F-trap 誘導体化による超高度感度メタボロミクスと薬物治療効果判定法への展開
医学部	助教	西奥 剛	生物学的製剤による白質脳症発症機序
医学部	助教	村田 雄介	パロキシゼンによる離脱症状発現の個人差に関する薬理遺伝学的研究
スポーツ科学部	助教	熊原 秀晃	代謝性疾患の予防・改善に有効な非運動性身体活動(NEAT) 条件に関する検討
スポーツ科学部	P D	飛倉 卓郎	PGC-1α 並びに転写因子のSNPs と筋内ミトコンドリア量と機能及び持久力の関係
福岡大学病院	講師	三宅 勝久	ウイルス感染後の自然免疫と獲得免疫の総合作用によるIgA 腎症の発症機序の解析
福岡大学病院	助教	西尾 淳	悪性軟部腫瘍の分子機構の解明とその診断・治療への応用
福岡大学病院	助手	木谷 嘉博	合成HDL の多面的効果
学長付	助教	山田 敏樹	細胞外クロライドイオンによるENaC 活性制御機構の解明
てんかん神経研究センター	P D	中村 友紀	KCNQ2 ノックインマウスを用いた予後不良型BFNC の病態解明

若手研究(スタートアップ)

経済学部	講師	中村 由依	労働のインセンティブメカニズムを導入した開発援助システムの構築のための理論分析
理学部	助教	船泊 静雄	シュペルトカリキュラスへの代数的位相幾何学からのアプローチ
理学部	助教	堀井 成留実	毒ヘビ血清新規蛋白質SSP の毒蛇成分に対する分子認識機構の解明
薬学部	助教	渡辺 拓也	脳指向性DDS における血液脳関門透過機構解明による新規ブリアン病治療法の開発

医学部	准教授	中島 衡	IgG4 関連腎疾患におけるT細胞の分化の解析
医学部	准教授	馬場 みちえ	摂食・嚥下機能低下がみられた脳血管疾患患者への介護予防のための前向き介入研究
医学部	准教授	三浦 伸一郎	各種アンジオテンシンII 1型受容体ブロッカーの特性を生かした新たな創薬へ向けて
医学部	准教授	三角 佳生	ゴルジ体局在タンパク質golgin とゴルジ体構築機構
医学部	准教授	三宅 吉博	アトピー性皮膚炎予防の環境要因と遺伝要因の交互作用解明に関する前向きコホート研究
医学部	准教授	山本 信太郎	インスリン脂質による容積感受性クロライドチャネル調節機構の解明
医学部	講師	芝口 浩智	癌の超音波力学療法—化学療法剤と超音波感受性物質の併用効果に関する基礎的検討
医学部	講師	原 健二	新たな焼死体の生活反応のマーカーの検討:血中高熱分解産物のGC-MS による分析
医学部	講師	フェリル,ロリト	低エネルギー超音波を利用した新しい非侵襲的癌治療システムの確立
医学部	講師	吉川 千鶴子	がん化学療法における塩酸セビン含嗽の口内炎予防効果の検証
医学部	教授	岩崎 克典	複合型アルツハイマー病動物モデルの認知障害におけるPPAR γ の役割に関する研究
薬学部	教授	高野 行夫	糖尿病における神経因性疼痛発症のしくみ:新規治療薬への挑戦
薬学部	教授	山口 政俊	分離指向性誘導体化HPLC 法の確立と生体試料分析への適用に関する研究
医学部	准教授	本田 伸一郎	脳特異的なアロマトラーゼ遺伝子発現による脳の性的二型決定機構の解析
薬学部	准教授	三島 健一	脳性小児麻痺の機能再生に関する緩徐進行性脳損傷モデルラットを用いた研究
薬学部	助教	本多 健治	中枢性コリン作動性神経を標的とした神経因性疼痛伝達機構の解明と治療薬の開発
スポーツ科学部	教授	田中 守	コンタクトフィットネスの測定評価法の検討
スポーツ科学部	准教授	楳垣 靖樹	骨格筋糖取り込み機序における酸化ストレス及び筋収縮刺激の相互作用の解明
福岡大学病院	教授	鍋島 一樹	癌関連促進因子EMMPRIN の多機能性メカニズムの解析
福岡大学病院	准教授	増本 幸二	短腸症候群における腸管延長術ステップ法の有用性についての基礎的研究
福岡大学病院	講師	上原 吉誠	細胞内コレステロール排出膜蛋白の作用機構解明とそれを標的とした血管病治療戦略
福岡大学病院	講師	小川 正浩	星状神経節アブレーションを用いた新しい心不全治療の試み
福岡大学病院	講師	近藤 寛之	網膜血管形成不全疾患の遺伝子解析
福岡大学病院	講師	馬場 康彦	パーキンソン病に対する視床下核刺激術:治療成績の向上と医療経済効果の検討
筑紫病院	教授	浦田 秀則	新しく確立したヒトキマーゼ測定法の臨床応用:急性冠動脈症候群と危険因子の分析
筑紫病院	准教授	八尾 建史	拡大内視鏡観察により視覚化された腫瘍血管形態の客観化と癌自動診断システムの構築
筑紫病院	講師	吉田 茂生	診断治療の分子標的の同定をめざした増殖硝子体網膜症のマイクロアレイ解析
環境保全センター	准教授	柳瀬 龍二	硫化水素発生を制御した廃石膏ボードの効率的な埋手法の開発

挑戦的萌芽研究

商学部	講師	二宮(大田) 麻里	市場形成過程と商業の国際比較
理学部	教授	田中 勝	非指数型分布族の情報幾何学への応用
医学部	教授	久保 真一	次世代の成体時期推定方法の開発を目指して:皮膚microRNA の応用
医学部	教授	廣瀬 伸一	乳児重症ミオクロニーてんかんにおける変異イオンチャネル蓄積病態の実証
薬学部	教授	中島 学	癌性腫瘍を用いたサブトラクティブ免疫法による新規単クローン抗体の作製と応用
スポーツ科学部	教授	田中宏曉	安全で効果的な強度探索を可能にする運動心収縮力と拡張時間の全自動推定装置の開発

若手研究(A)

人文学部	講師	長江 信和	インターネットテレビ電話を用いた心理臨床在宅支援システムの開発
------	----	-------	---------------------------------

若手研究(B)

人文学部	准教授	田村 和彦	中国の葬儀改革に関する社会人類学的研究:国家と人々を媒介する分節集団の事例研究
人文学部	准教授	山根 直生	中国唐宋時代の河南地域における地域開発と軍事集団に関する研究
人文学部	講師	福岡 寛之	進歩的教育学者におけるナショナリズムに関する研究

平成
21年度

科学研究費補助金の採択結果

文部科学省と独立行政法人日本学術振興会が交付を行う、平成21年度科学研究費補助金について、次のとおり採択されました。

理学部	教授	小田 信行	ホップ不変量の安定性とホップ構成の研究
理学部	教授	黒瀬 俊	現代的観点による古典的微分幾何の再構築とその応用
理学部	教授	陶山 秀彦	4次元空間形内の共形平坦な超曲面の研究
理学部	教授	林田 修	クラスター効果に基づくシクロファン多量体の合成および標的ゲストの捕捉と検出
理学部	教授	宮川 賢治	アダプティブ結合を持つ能動要素ネットワークの自己組織化—デザインと制御
理学部	准教授	中川 裕之	鉄貯蔵タンパク質フェリチンの集合体形成と細胞内輸送の制御機構
理学部	准教授	御園 雅俊	光周波数コムと高フィネス光共振器を併用した超高分解能・超高感度レーザー分光計測
理学部	助教	石原 与四郎	年縞堆積物に挟まれる重力流の流動・堆積モデルと規制要因の研究
理学部	助教	清田 龍義	計算代数の最近の成果と連携した微分幾何の研究
理学部	非常勤講師	塩清 勝博	リーマン多様体の放射曲率と位相
工学部	教授	帯 純一	省力化と高耐震性を目指す鋼・コンクリート合成柱と耐震要素を組合せた骨組の開発
工学部	教授	佐藤 研一	廃石膏ボードの地盤改良材への適用と環境影響評価に関する研究
工学部	教授	種 兼大和	廃棄物を用いたコンクリート用骨材の製造・開発及び用途の拡大
工学部	教授	重松 幹二	マキネッタ抽出法による水可溶性 β -1,3グルカンの抽出
工学部	教授	末次 正	高周波スイッチング増幅器を用いた電源回路の集積回路化およびデジタル制御
工学部	教授	西崎 喜代人	高電圧機器外部電気絶縁耐力の異常低下に与える炭酸ガス濃度効果
工学部	教授	モシニヤガ,ワシリー	視聴者振る舞いの認識によるテレビ消費エネルギー削減技術の開発
工学部	教授	山崎 惟義	海水淡水化排水・下水処理水の混合排水の高酸化による生態系再生に関する研究
工学部	准教授	三島 健司	超臨界コーティング法による細胞ストレス可視化ナノデバイスの開発
工学部	准教授	森山 茂幸	関節鏡下における安全な診断・治療のための教育訓練システムの開発
工学部	准教授	渡辺 清	コストと耐久性を考慮した中規模構造物の標準設計手法の開発とその評価
工学部	准教授	渡辺 亮一	浸淫窪地修復に伴う周辺底面環境への影響予測に関する基礎的研究
医学部	教授	井上 隆司	心臓Ca ²⁺ 流入チャネルTRPC6 蛋白質の活性化モード制御機構の解明
医学部	教授	岩崎 昭重	最先端胸部手術医療技術のアジアに向けた教育的配信と環境の構築
医学部	教授	岩本 隆宏	上皮細胞カルシウム輸送体ファミリーの生理機能とその病態機序の解析
医学部	教授	内尾 英一	アデノウイルス眼感染症の新しい薬物治療の開発と臨床応用に関する研究
医学部	教授	数 博	アディポネクチンとレプチンの体重増加抑制効果に関する疫学研究
医学部	教授	黒木 政秀	新しい腫瘍マーカーMK-1 の癌の診断と治療における有用性の検討
医学部	教授	斉藤 希雄	リポ蛋白糸球体症の発症・進展に関するAPOE 異常とFc 受容体異常との相互作用の解明
医学部	教授	坂田 剛行	マクロファージに発現するNa ⁺ /Ca ²⁺ 交換体の粥状硬化進展機序における役割
医学部	教授	関 啓二郎	創薬の可能性:新規ペプチド型合成HDL の開発
医学部	教授	竹下 盛重	胃腸T _H 17/NK/T細胞リンパ腫の特徴とヘリコバクターピロリー感染との関係
医学部	教授	中川 尚志	好酸球性中耳炎の病態解明による難治性中耳炎に対する治療戦略
医学部	教授	原田 広枝	新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築
医学部	教授	廣松 賢治	クラミジア感染マウスモデルにおけるCD1 ⁺ 免疫応答の基礎研究
医学部	教授	守山 正樹	触覚を活用した対話型の生活と健康の調査法:開発と応用
医学部	教授	吉満 研吾	MR 計算画像T2*及びT2map による生体肝内鉄の非侵襲的評価とその臨床応用

交付先	種目・区分		採択件数			採択金額 (千円)
			新規	継続	合計	
文部科学省	特別推進研究		—	—	—	—
	特定領域研究		0	1	1	2,500
日本学術振興会	基礎研究(S)		—	—	—	—
	基礎研究(A)	一般	1	2	3	34,500
		海外学術調査	—	—	—	—
	基礎研究(B)	一般	2	5	7	27,900
		海外学術調査	1	1	2	7,800
	基礎研究(C)	一般	34	40	74	88,400
	挑戦的萌芽研究		2	4	6	5,700
文部科学省	若手研究(A)		0	1	1	4,000
	若手研究(B)		18	21	39	45,500
日本学術振興会	若手研究(スタートアップ)		—	4	4	4,120
	研究成果公開促進費(学術図書)		—	—	—	—
	合計		58	79	137	220,420
前年度合計		42	78	120	203,790	

研究種目名・所属 課題名	資格	代表者名
-----------------	----	------

特定領域研究

医学部	教授	岩本 隆宏	NCX 分子複合体の生体膜ミクロドメイン集積機構の解析
-----	----	-------	-----------------------------

基盤研究(A)

人文学部	教授	武末 純一	日韓集落の研究—弥生・古墳時代および無文土器—三国時代—
医学部	教授	廣瀬 伸一	ヒトてんかんの遺伝子改変モデル動物の作出と革新的治療の開発
スポーツ科学部	教授	田中 宏曉	遺伝子・タンパク発現及び代謝反応を基にした運動プログラムの開発

基盤研究(B)

人文学部	准教授	高橋 昌彦	旧台北帝大に遺存する国学者・長沢伴雄の旧蔵書に関する総合的研究
理学部	教授	脇田 久伸	生体試料中軽金属元素の状態別in-situ イメージング用軟X線分光システムの開発
理学部	准教授	奥野 亮	フィリピン共和国、イロシニカルデラの火山・地熱活動史に関する日比共同研究
工学部	教授	佐藤 寿倫	ソフトウェア—ばらつき・経年劣化を考慮可能なプロセッサアーキテクチャの構築
医学部	教授	久保 真一	薬毒物関連死の剖検診断の新たな展開に向けて:遺伝学的背景の検討
医学部	教授	白澤 寿二	自己免疫疾患関連転写制御因子の生命機能における基盤的研究
医学部	教授	柳瀬 龍彦	生活習慣病発症基盤としてのアンドロゲンの意義に関する基礎的、臨床的研究
医学部	准教授	江本 精	超音波を併用した癌分子標的・血管新生阻害療法の臨床導入に向けての研究
スポーツ科学部	非常勤講師	進藤 宗洋	作業筋虚血閾値の測定を意味した運動処方分子生物学研究と運動導出性適応機構の解明

基盤研究(C)

人文学部	教授	浦上 雅司	17世紀ローマ絵画における「想像力」の位置(ドミニキーノを中心として)
人文学部	教授	徳永 豊	重度・重複障害児における共同注意の障害と発達支援の要因に関する研究
人文学部	教授	星乃 治彦	ウィア・ヒストリーによる西洋史再考
人文学部	教授	森澤 万里子	メディアと都市言語—16世紀ニュルンベルクのパンフレット・ビラに関する文書研究
人文学部	教授	山内 正一	都市・郊外・田園の詩学とイギリス・ロマン派
人文学部	准教授	伊藤 益代	量化表現解釈と言語心理学の研究—統語論と意味論と語用論のインターフェイス
経済学部	教授	西原 宏	情報構造をもつn人囚人のジレンマにおける均衡選択についての実験的研究
理学部	教授	井上 淳	非有界作用素環の構造と表現
理学部	教授	上野 勝美	上部石炭系年代層序境界模式地帯定に向けたフズリナ生層序とサイクロロセム対比の統合

地域の福大

サポーター

3 delica mini(デリカミニ) 福岡市城南区七隈7-5-30 TEL:092-864-6351



「美味しさ、プラスおばちゃんの人柄に引かれて」と話す常連の川口綾佳さん(スポーツ科学部4年次生・右)と、店長の高原さん。



七隈四ツ角から少し坂を上った通り沿いにあるお店。営業時間:午前11時30分~午後9時30分。不定休。

甘さだけでなく、人生の辛さや苦味もみんなに伝えたいと思います。本店周辺では珍しいベーグルサンドとクレープのお店。どれもボリューム満点、もちろん美味しさも福大生の折り紙つき。11年前にオープンした当初はソフトクリーム屋さんでした。ソフトクリームを食べていると、親と子が仲良く会話できるんですよ。私の経験ではね」と、店長の高原雅子さん。親子が気軽に寄れる



人気のメニューは、しょうゆ焼きチキンベグル(380円)と、チョコ&バナナ&生クリームクレープ(390円)。

店に、という思いで始めたお店ですが、その後ご主人の助けもあってベグルとクレープも始めました。高原さんのもう一つの顔は「STOPOADS」を譲る「梅中キルト」という団体のボランティア。お店でも福大生に「AIDS」の正しい知識を教える時には恋愛相談に乗ることも。女子学生が多いこともうなずけます。

Fukuoka University



4 Musée Oda(ミュゼ・オダ) 福岡市城南区七隈1-11-50 TEL:092-822-8828



重松勝利事務局長(左)と、スタッフの田地廣子さん。



本学の末永理事長が代表を務める美術館です。学生の皆さんにもっと多く訪れてほしい。福大キャンパスの近く、城南中学校前に緑豊かな森があるのを知っていますか?この森に点在するのが、本学の末永直行理事長が代表を務める「末永文化振興財団」の末永文化センター。センターを代表する施設の一つ「Musée Oda」は、福岡県出身の詩人画家、織田廣喜氏の代表作を集めた美術館です。木々に囲まれた建物の地下に展示されている作品は、どれも逸品ばかり。日常の喧騒を忘れ、「芸術の秋」を満喫してみるのがよいでしょう。理事長との縁もあり、福大生の皆さんにはもっと多く訪れてほしい。美術館はもちろん、周辺を歩くだけでも贅沢な気持ちになりますよ。重松勝利事務局長からの言葉です。

地下の広いスペースには、織田廣喜画伯の代表作が数多く展示されています。入館料:大人500円、高校生200円、小中学生100円 開館時間:午前11時~午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日:月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館・翌日休み)



深い森の中に佇む美術館。周辺にはホールやギャラリーも。

福岡市城南区七隈8-4-8 TEL:092-874-2300 スポーツクラブ エスタ城南 1



2003年にオープン。ワンフロアにテニスコート、スタジオ、ジム、サウナなどが整備されています。福大生の会員も徐々に増えてきました。



エスタ城南の方々に前に、プレゼンテーションを行う太宰ゼミの皆さん。



ジム内にあるトレーニングマシンの中には、福岡に2台しかない最新鋭のものもあるとか。



「福大生は礼儀正しくて明るいですね」と話す澤井さん(左端)とスタッフの皆さん。

supporter in region



福岡市城南区片江5-10-2 TEL:092-865-0256 キッチンSAKURA 2



店長の福江さん(右)とスタッフの中島加寿子さんは、どちらも福大OGです。



「7つ目の食堂」という気持ちで、学生の皆さんの食生活を支えていきます。通用門前のバス通りを渡って小道を真っすぐ行き、左に曲がる。隠れスポットのようですが、福大生(特に男子学生)には大人気のお店です。店長の福江由美子さんは片江生まれで福大OG。しかもお母さまが福大生向けの下宿屋をしていた、根っからの福大育ちです。メニューは、その「7つ目の食堂」という気持ちです。下宿屋当時の味とボリューム、低価格、そして福大生への愛情を注ぎ続けています。9月からはポイントカードを始めました。「肉・魚・野菜、栄養バランスも考えています」と福江さん。以前は「11号館」という喫茶店(当時の福大は10号館まで)でしたが、それを買収して現在の店に。「当時から福大生御用達でした。今は福大の7つ目の食堂という気持ちです。」



営業時間:午前9時~午後9時。休日は福岡大学が休みの日。さすが「7つ目の食堂」です。

人気のメニューは栄養バランスも良い、日替り定食(500円)。喫茶店の面影をそのまま残した、レトロな雰囲気です。

人気! おすすめ!

学内スポット

キャンパスで注目のスポット、その魅力や人気のアイテムなどをレポート。
さあ、仲間を誘って行ってみよう!

第一食堂

専属栄養士の提案メニュー

昭和の時代から福大生の食を支えてきた伝統の学食。価格・ボリュームはもちろん、魚を長浜魚市場で毎朝仕入れるなど、味へのこだわりも一級品。最近では専属の栄養士さんが栄養バランスとカロリー計算を重視してメニューを提案しています。おすすめは「健康応援ランチ」。旬の魚をメインに野菜などをバランス良く献立し、黒米・雑穀米・麦米を使うなど健康に配慮しています。人気の「カフェランチ」も、ヘルシーでおすすめです。



人気!

カフェランチ
(420円)



おすすめ!

健康応援ランチ
(420~500円)



モスバーガー

安全・安心・健康がキーワード

全国でも珍しい、大学キャンパス内にあるモスバーガー。店頭には、日替わりメッセージや食材の生産者表示ボードなどがあります。他店よりもお得なメニュー、そして「グリーンモス」並みのクオリティーの高さが魅力です。お洒落な雰囲気のおかげ、客層は圧倒的に女性優位。「男性も気軽に寄ってほしい。少しでも学生のカラダとサイフに優しいメニューを、と毎日努力してお待ちしています」。店長さんからのうれしいメッセージです。



人気!

モスバーガーサラダセット
(570円)



おすすめ!

フローズン
ケーキバー
(180円)

